

廣島市勢一瞥

第拾壹回



廣島市役所

2.10

室

公文書館

例

凡

- ◎本書ハ我廣島市ニ於ケル各種ノ状態ヲ
 概括的ニ紹介センガ爲メ編纂シタルモ
 ノニシテ努メテ最新ノモノヲ輯録セル
 モ統計的數字ハ大正十四年及同年度ノ
 事實ヲ掲載セリ
- ◎本書中數量ハ千位及百萬位ニ(,)ヲ單
 位ニ(.)ヲ事實ナキモノハ(一)ヲ一位ニ
 滿タザルモノハ(○)ヲ調査ニ疑義アルモ
 ノハ(?)ヲ附ス

正誤表

頁行	摘	要	誤	正
一一三	總說沿革	町村制施行	編制	三六二一官公衛
一一三	〃	沼田郡	佐伯郡	三八一四新聞社
一一六	〃	之ガ	市制	三八一八名所舊蹟
一一九	〃	仁保村	仁保島村	廣島
一二三	〃	十ヶ村	十二ヶ村	〃
一五	八土地位置	半半面	北半面	〃
六二〇	免租及無租地	道路	堤防	〃
六二九	官有地	防堤	堤防	〃
六三三	戸數人口	戸數4,97戸	戸數207戸	〃
六三四	〃	人口5.19%	人口5.48%	〃
二四一	住野甲馳工場	廣瀬町	福島町	〃
二六	屠殺豚	廣瀬町	福島町	〃
二七〇	會社	廣廣製紙株式會社	廣島製紙株式會社	〃
三五一八	諸稅負擔	廣廣製紙株式會社	廣島製紙株式會社	〃
三六二一	官公衛	三六二一	三六二一	〃
三八一四	新聞社	三八一四	三八一四	〃
三八一八	名所舊蹟	三八一八	三八一八	〃
廣島	〃	廣島	廣島	〃
城趾	〃	城趾	城趾	〃
同字品分署	第五師團兵器支廠	同字品分署	第五師團兵器支廠	〃
第五師團兵器支廠	第五師團兵器支廠	第五師團兵器支廠	第五師團兵器支廠	〃
八丁目	〃	八丁目	八丁目	〃
國主	〃	國主	國主	〃
其後	〃	其後	其後	〃
長門五年	〃	長門五年	長門五年	〃
慶長五年	〃	慶長五年	慶長五年	〃
維新後ハ	〃	維新後ハ	維新後ハ	〃
改築	〃	改築	改築	〃
二葉ノ里ノ一	〃	二葉ノ里ノ一	二葉ノ里ノ一	〃
參堂	〃	參堂	參堂	〃
圓福寺	〃	圓福寺	圓福寺	〃
法華宗	〃	法華宗	法華宗	〃
東北端	〃	東北端	東北端	〃
商賣	〃	商賣	商賣	〃
六月	〃	六月	六月	〃
東部	〃	東部	東部	〃
日蓮宗	〃	日蓮宗	日蓮宗	〃
誓願寺	〃	誓願寺	誓願寺	〃
參道	〃	參道	參道	〃
(削除)	〃	(削除)	(削除)	〃
燒失	〃	燒失	燒失	〃
其後	〃	其後	其後	〃
長門周防ニ	〃	長門周防ニ	長門周防ニ	〃
慶長五年	〃	慶長五年	慶長五年	〃
國守	〃	國守	國守	〃
八丁堀	〃	八丁堀	八丁堀	〃
第五師團兵器支廠	〃	第五師團兵器支廠	第五師團兵器支廠	〃
字品警察署	〃	字品警察署	字品警察署	〃

目次

總	說	1
	沿革	1
	廣島市町名	2
象	氣	3
	氣候	3
土	地	5
	位置	5
	地勢	5
	面積	5
戶數人口		6
	戶口	7
	國勢調查	7
	職業別	7
	年齡別	8
社寺及宗教		8
學	事	9
上	水道	12
衛	生	14
警察、裁判、警備、刑務		17
救	恤	18
商	工業	18
農	業	25
水	產業	26
會	社	26
銀行及金融		29
交	通	31
	道路	31

橋	梁	31
鐵	道	31
軌	道	32
船	舶(宇品入港)	32
棧	橋(通行人員)	32
市會議員、職員、財政		34
議 員、委 員		34
市 吏 員		34
財 政		34
官 公 衙		36
保 險		37
新 聞 社		38
名 所 舊 蹟		38
廣 島 城 趾		39
大 本 營 跡		40
舊 御 便 殿		40
饒 津 神 社		41
東 照 宮		42
國 泰 寺		42
明 星 院		43
誓 願 寺		44
本派本願寺廣島別院		45
國 前 寺		46
泉 邸		46
比 治 山 公 園		47
江 波 山 公 園		47
大 內 越 道		48
三 本 松		49
太宰原天滿宮		50

奈 免 良 井	50
新 天 地	50
宇 品 山	51
廣 島 縣 廳	52
廣 島 市 役 所	52
廣島縣立商品陳列所	53
廣島商業會議所	54
廣 島 市 屠 場	54
廣島市常設家畜市場	55
上水道水源地	56
廣島高等師範學校	57
廣島高等工業學校	57
廣 島 高 等 學 校	58
宇 品 港	58
千田男爵銅像	58
廣 島 驛	59
紙屋町電車交叉點附近	60
第一軍戰死者記念碑	61
本 川 橋	61
元 安 橋	61
名 物 及 物 產	62
牡 蠣	62
海 苔	62
柿	62
鮎	63
廣 島 菜	63
廣 白 魚	63
罐 詰	63
足 袋	63

染手拭	63
晒木綿及染地類	64
簞笥	64
傘	64
縫針	65
建具	65
紡績綿糸	65
人造絹糸	65
護謄製品	65
製綿	66
洋紙	67
菓子	67
燐寸	67
清酒	68
洋服	69
里程表	70
市内主ナル旅館	71

總 說

沿革——本市ハ往昔五箇庄ト稱セシガ天正十七年毛利輝元此地ニ築城シテ廣島ト改稱セリト云フ而シテ毛利氏ハ當時陰陽十州ヲ領シ廣島ハ其治所ナリシカバ將士ノ邸宅及商工ノ住宅等頓ニ増加セリ毛利氏ハ百六十萬石ヲ領セシガ慶長五年削封セラレ長門周防ニ移ル福島正則其後ヲ襲ヒ尾張清洲ヨリ入城シ五十萬石ヲ領セリ二十年ノ後亦削封セラレ元和五年信濃ニ移サル同年八月淺野長晟之ニ代ル其領封四十二萬六千石ニシテ安藝一圓及備後八郡ヲ領シ紀伊ヨリ入城シ爾來淺野氏十二世ノ藩治實ニ二百五十餘年ヲ經テ明治二年六月十七日淺野氏版籍ヲ奉還ス明治四年廢藩置縣ト共ニ沼田郡江波村ヲ我管轄ニ移シテ總テヲ四區ニ分チ後又一大區トナシ之ヲ十二小區ニ分チ其間多少ノ變革アルモ區長、副區長、戸長、副戸長等ヲ置キテ本市ノ行政ヲ執レリ明治十一年十一月郡區町村制施行ニ際シ庚午新開ヲ沼田郡ノ管轄ニ移シテ廣島區ト爲シ區役所ヲ大手筋一丁目ニ設ケ後中島新町ニ移リ區長戸長以下吏員ヲ置キ縣廳ニ直屬シテ市政ヲ執レリ明治二十一年四月市制發布セラレ明治二十二年四月之ガ實施ト共ニ市役所ト改メ市會議員三十六名名譽職市參事會員市長助役ノ諸機關ヲ具ヘ現時ハ市會議員四十名行政區域ハ明治三十七年十月十六日安藝郡仁保村ノ一部ヲ割キ元宇品町ト稱シテ本市ニ編入シ明治十七年築港ニ由リテ宇品町ヲ創設セルノ外ハ淺野氏藩籍奉還當時ト異ナルコトナシ而シテ明治四十年三月二十三日大須賀村ヲ大順賀町ニ川添村ヲ福島町ニ改メ大正五年七月一日國泰寺村ヲ國泰寺町及千田町ノ二ヶ町トシテ其他十ヶ村ヲ總

テ町名ニ改メタリ

明治二十七八年戰役起ルヤ大森ヲ本市ニ進メサセ給ヒ第五師團司令部内ニ大本營ヲ置キ市内ヲ臨戰地境トセラレ諸多ノ軍隊此ノ地ニ雲集セリ降テ三十三年三十七八年及大正三年乃至同九年戰役ニ於テモ毎ニ軍隊出入ノ要地トナレリ

廣島市町名

尾長町	愛宕町	大須賀町	猿猴橋町
荒神町	蟹屋町	大須町	東新開町
段原町	皆實町	字品町	元宇品町
的場町	金屋町	比治山町	土手町
松川町	稻荷町	京橋町	臺屋町
白島中町	白島西中町	白島東中町	白島北町
白島九軒町	東白島町	西白島町	基町
橋本町	石見屋町	上柳町	山口町
銀山町	東引御堂町	針屋町	幟町
上流川町	鐵砲町	八丁堀	胡町
堀川町	三川町	下流川町	藥研堀
下柳町	平塚町	田中町	竹屋町
南竹屋町	立町	東魚屋町	研屋町
平田屋町	播磨屋町	革屋町	鐵砲屋町
新川場町	中町	下中町	西魚屋町
袋町	小町	尾道町	塩屋町
紙屋町	猿樂町	大手町一丁目	同二丁目
同三丁目	同四丁目	同五丁目	同六丁目
同七丁目	同八丁目	同九丁目	國泰寺町

千田町	細工町	横町	鳥屋町
中島本町	天神町	材木町	元柳町
木挽町	中島新町	水主町	吉島町
寺町	西引御堂町	空鞆町	鷹匠町
十日市町	西九軒町	左官町	鍛冶屋町
油屋町	塚本町	猫屋町	西大工町
榎町	堺町一丁目	同二丁目	同三丁目
同四丁目	西地方町	西新町	小網町
河原町	船入町	江波町	廣瀬町
觀音町	天満町	福島町	

(計百十五箇町)

氣象

氣候——本市ノ氣溫ハ概シテ中和ニシテ明治三十八年以降夏季未ダ三十八度一分(華氏百度六分)ヲ超ユルコトナク冬季零下九度八分(華氏十七度六分)ヲ下リタルコトナシ今大正十四年中氣溫ノ最高最低ヲ見ルニ最高ハ七月二十三日三十六度一分(華氏九十七度)最低二月三日零下四度三分(華氏二十四度三分)ナリ而シテ其一ケ年間ニ於ケル平均ハ十四度七分(華氏五十八度六分)トス之ヲ前年度ニ較ブレバ最高二度低ク最低一分高ク平均一分ノ高溫ヲ示セリ大正十四年中ニ就テ氣壓ノ概況ヲ見ルニ二月四日ノ七七七耗ヲ最高トシ八月十七日ノ七四六耗ヲ最低トス而シテ一ケ年間ノ平均氣壓ハ七六二耗ニシテ最高最低ノ較差ハ三十一耗ヲ示セリ本市ノ降雨ハ概シテ初夏ヨリ初秋ノ候ニ多ク大正十四年中ニ於ケル降雨日數ハ一一九日ニシテ前年ノ一

二三日ニ比シテ四日少ク最近十ケ年間ニ於ケル平均降雨日數一四〇日ニ比スレバ二十一日少シ而シテ大正十四年ニ於ケル降雨日數ノ最モ多キハ九月(十五日間)最モ少キハ一月(三日間)ナリ降雪日數ハ大正十四年中二十六日(前年ニ比シ三日多シ)ニシテ恰モ最近十ケ年間ニ於ケル平均降雪日數ト同様ナリ

風向ハ夏季ニ南西多ク其他ハ殆ド北々東ナリ一年中夜間ハ北又東風吹キ冬期ニテモ日中平和ナルトキハ南西ノ風多シ大正十四年ニ於ケル暴風ハ九月七日ノ一日ノミニシテ(一秒時間風速十四米)前年ノ十日ニ比シ九日少ク最近十ケ年ニ於ケル一ケ年平均暴風日數十一日ニ比シ十日少シ大正十四年中ニ於ケル快晴(滿天ヲ十分シ全ク雲ナキカ若クハ平均雲量十分ノ二ニ充タザル日)日數三十一日ニシテ前年ニ比シ一日多シ平均十ケ年間ニ於ケル一ケ年平均二十九日ニ比シ二日多シ地震ハ大正十四年中十一回ニシテ最近十ケ年平均十回ニ比スレバ一回多シ而シテ概ネ微震弱震ニシテ強震ハ極メテ稀ナリ

月次	氣溫最高	同最低	同平均	風速平均	地震回数	天氣日數			降水量
						快晴	曇天	雨	
一月	12.3	(一) 3.8	4.0	1.5	—	1	14	3	2.8
二月	14.3	(一) 4.3	3.3	1.6	—	—	10	9	59.6
三月	18.8	(一) 3.4	6.9	1.7	1	2	6	11	47.3
四月	22.6	(一) 1.4	12.0	1.6	—	6	10	9	78.9
五月	27.3	5.6	17.5	1.1	—	1	16	13	239.4
六月	29.5	11.5	21.6	1.0	7	1	19	13	217.7
七月	36.1	15.3	25.6	1.2	1	1	14	8	188.9
八月	35.0	20.0	27.1	1.3	—	4	7	8	106.3
九月	34.3	12.1	23.5	1.6	2	3	13	15	353.4
十月	23.6	6.1	17.1	1.6	—	5	5	8	54.8
十一月	25.0	2.0	12.3	1.5	1	3	9	8	62.9

十二月	17.7	(一) 3.6	5.6	1.5	—	4	9	14	82.8
一ケ年	25.1	(一) 4.3	14.7	1.4	11	31	132	119	1,494.8
大正十三年	38.1	(一) 4.2	14.6	2.3	6	30	136	123	1,075.4
大正十二年	36.0	(一) 8.0	14.9	1.9	11	31	158	155	2,540.9

土地

位置——廣島市ハ東經三十二度二十五分十六秒乃至二十九分五十六秒北緯三十四度二十分乃至二十四分二十七秒ノ間ニアリテ安藝國西南ニ位シ東及半半面安藝郡ニ西ハ佐伯郡ニ北半面ハ安佐郡ニ接シ南一帯ハ廣島灣ニ瀕ス

地勢——東北西ノ三方ハ山脈ニ圍繞セラレ南一面ハ海ニ瀕ス市内ハ北ヨリ南ニ向テ僅ニ傾斜シ河川亦南流ス而シテ太田川ハ市ノ北端白島北町一本木鼻ニ來リ兩分シ神田川ト共ニ市北方ノ境界ヲ劃スーハ臺屋町ノ北角ニ到リテ更ニ二分セラレ其ノ一派ハ中島本町ノ北角ニテ元安・本川ノ二川トナリ他ノ一派ハ西南ニ流レテ天滿・福島・山手ノ三川トナリ諸川皆廣島灣ニ注グ街衢ハ概ネ平坦ナルモ東方ニ比治山ノ弧丘アリ西南ニ江波山・丸子山・皿山ノ小陵アリ海上宇品灣頭ニ宇品島アリ其平地ハ太田川ニ依テ數多ノ三角洲ヲ成シ地質ハ一般ニ花崗岩ニ屬ス

面積

面積	廣	表	極東 大須町榎川	極西 福島町附寄洲	極南 元宇品町宇品島	極北 白島北町一本木鼻
周圍	27,299.667 (8,258.112)	米 平方 年	6.472 (1,23.20)	米 町間	8.000 (2,01.20)	米 町間

道	區 別	面 積	延 長	河 延 長	32.387 (7.28.13間)
國 道		(12.284)	40.608	(1.19.18)	6.032
縣 道		(35.785)	118.298	(3.21.34)	14.134
市 道		(267.914)	885.670	(85.04.18)	334.287
有 租 地	區 別	段 別	地 價		
市 街 宅 地	(町反)	5.520.994	5.3.6.282		
田 畑 池 沼	(253.0)	2.509.092	113.188		
	(480.3)	4.763.308	192.160		
山 原 雜 種 地	(0.4)	3.967	5		
	(25.2)	249.917	1.066		
	(1.4)	13.884	28		
	(2.3)	22.810	92		
免 租 及 無 租 地	區 別	反 別	區 別	反 別	
學 校 數 地	(町反畝 步)	616.764	警察署數地	(町反畝 步)	6.144
鄉 村 社 地	(1.0.09)	1.021	縣會議事堂數地	(6.8.16)	6.696
墳 墓 地	(11.0.5.17)	109.643	病 院 數 地	(2.8.7.17)	28.519
用 惡 水 路	(1.9.9.10)	19.767	測 候 所 數 地	(1.3.3.26)	13.275
溜 池	(1.4.24)	1.466	新 開 地	(17.5.0.9.25)	1.736.513
井 溝	(2.5.25)	2.561	荒 地	(9.9.2.28)	98.470
道 路	(4.2.8.29)	42.5541	工業試驗場數地	(2.5.06)	2.498
鐵 道 敷 地	(3.7.8.00)	37.487	下 水 道 敷 地	(5.6.4.13)	54.977
縣 廳 敷 地	(1.3.4.14)	13.335	軌 道 用 地	(3.9.2.28)	38.968
保 安 林 地	(5.09)	526	其 他	(8.8.2.24)	87.550
市 役 所 敷 地	(3.1.24)	3.153			
官 有 地	國 道	(町反畝 步)	溝 渠	(町反畝 步)	320.363
	(4.09.14)	48.640	社 寺 地	(14.3.0.12)	141.386
	(14.4.0.02)	142.817	官 用 地	(30.5.4.25)	302.959
	(88.1.7.05)	874.416	其 他	(119.6.2.19)	1.186.378
	(248.5.6.19)	2.465.120			
	(23.88.23)	236.902			

戸 數 人 口

戸數人口——本市ニ於ケル大正十四年十二月三十一日現在戸數四
五・六〇一ニシテ人口ハ男九三・八二九女九三・〇九九計一八六・
九二八人ナリ之ヲ前年ニ比スレバ戸數四・四九七戸人口九・七〇
八人増加セリ其ノ増加率ハ戸數〇・九八%人口五・一九%ヲ示セ
リ

本籍者ノ結婚數ハ最近十ヶ年平均一・三三%離婚數ハ〇・二一%
ヲ示シ出産ハ二・六六%死亡數一・八二%ヲ示セリ

年 次	現住戸數	男	女	計	一戸ニ付 平均人口
大 正 十 二 年	44,399	87,274	84,524	171,798	3.9
大 正 十 三 年	45,394	89,332	87,887	177,219	3.9
大 正 十 四 年	45,601	93,829	93,099	186,928	4.0
大 正 十 四 年		男	女	計	
本 籍 者	76,562	75,689	152,251		
出 寄 留 者	21,213	17,240	38,453		
入 寄 留 者	38,480	34,650	73,130		
出 生	3,123	2,913	6,036		
死 亡	1,747	1,771	3,518		
婚 姻	—	—	2,280		
離 婚	—	—	294		

國勢調査

戸 口 表

調 査 ノ 年	世 帯 數	人	口	計
		男	女	
大 正 九 年	34,522	75,522	77,123	152,645
大 正 十 四 年	42,802	95,811	93,734	189,545
差 引 増 減	増 8,280	増 20,289	増 16,611	増 36,900

備考 本表ハ軍隊・刑務所ヲ除キタルモノトス

本表ニ依レバ平均一ヶ年ノ増加率ハ世帯數一千六百五十六人口七千三百八
十ノ増加ヲ示セリ

職 業 別

(大正九年調査)

職 業 別	男	女	計	百 分 比 例
農 業	2,847	1,821	4,668	2.9
水 産 業	469	384	853	0.5
鑛 業	32	—	32	0.0
工 業	16,007	6,227	22,234	14.1
商 業	12,596	4,086	16,682	10.6
交 通 業	5,149	416	5,565	3.5
公 務 及 自 由 業	7,615	1,970	9,585	6.1
其ノ他ノ有業者	1,440	2,301	3,741	2.3
家 事 使 用 人	97	2,064	2,161	1.3

無職者	32.080	59.941	92.021	58.7
計	77.543	79.210	156.753	100.0

備考 本表ハ一人ニテ本業ト副業トナ併有ス。ルモノアルガ故ニ人口總數ト符合セズ

年齢別表

(大正十四年調査)

年齢別	十歳マテ	二十歳マテ	三十歳マテ	四十歳マテ	五十歳マテ	六十歳マテ
男	22.121	24.757	16.837	11.713	9.574	6.521
女	21.497	22.877	16.204	10.950	9.688	6.536
計	43.618	47.634	33.041	22.663	19.262	13.057

七十歳マテ	八十歳マテ	九十歳マテ	百歳マテ	百歳以上	計
3.093	1.071	117	6	—	95.810
3.721	1.888	341	30	1	93.732
6.814	2.959	458	36	1	189.542

備考 本表中最年長者女一ハ百三歳ナリ

社 寺 及 宗 教

社寺及宗教——ト市ニ於ケル神社ハ四十一社ニシテ寺院百三十二個寺、基督教會十一個アリ

區	別	縣	社	鄉	社	村	無格社	招魂社	計	
神	社		1		1		9	29	1	41
神	職		2		2		9	2	× 1	15
		× 1				× 1				× 3
區	別	眞言	淨土	臨濟	曹洞	眞宗	日蓮	計		
寺	院	15	19	6	13	68	11	132		
住	職	14	19	6	13	65	11	128		
		× 1				× 3		× 4		
神道教會所	金光	黑住	神理	天理	大元	扶桑	神習	御嶽	其他神道	計
	7	2	4	18	1	3	2	1	3	41
基督教會	會	堂	講義所	布教者	信者數					
	10		1	19	1,411					
佛教濟世軍	所	在	地	眞	宗	布教者				
	研	屋	町		1	2				

學 事

教育——大正十四年度末ニ於ケル學齡兒童二八、五〇六名ノ内就學ノ始期ニ達シタルモノ二四、二三九名就學ノ始期ニ達セザルモノ四、二六七名之ヲ前年ニ比スレバ就學ノ始期ニ達シタルモノ三、〇五六名就學ノ始期ニ達セザルモノ五二三名ノ増加ヲ見ル而シテ最近十ケ年平均就學ノ始期ニ達シタル兒童中不就學者〇、一八%ヲ示セリ

大正十四年末ニ於ケル小學校ハ官公立二校私立三校計二四校ニシテ其ノ教員數五三〇名兒童數二七、四四九名ナリ之ヲ前年ニ比スルニ教員三七名兒童三、五八九名ノ増加ヲ來セリ卒業者ハ大正十四年四、七四二名ニシテ前年ニ比シー九四名ノ増加ヲ示セリ

高等師範學校ハ一校ニシテ大正十四年度末現在ノ教授六七名生徒七六七名ニシテ本年入學志願者一、八八六名中入學者二〇五名ナリ卒業者一七三名ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ一五名ノ増加ヲ見ル

高等工業學校ハ一校ニシテ大正十四年度末現在教授三九名生徒二二六名ニシテ入學志願者三七〇名中入學者一一一名卒業者九二名ニシテ之ヲ前年ニ比スルニ卒業者一四名減少セリ

高等學校ハ一校ニシテ大正十三年十二月十日ノ創立ニ係リ現在教員數二九名生徒三七七名ニシテ入學志願者一、〇六三名中入學者一八四名ナリ

陸軍幼年學校ハ一校ニシテ大正十四年度末現在ノ教官一一名生徒數一五二名入學者五〇名本年卒業者四九名ナリ

縣立師範學校ハ一校ニシテ其生徒數五四八名教員二六名卒業者

ハ本年一七一人名ナリ之ヲ前年ニ比スレバ六名ノ減少ヲ來セリ
中學校ハ官立三校私立三校計六校ニシテ教員二〇名生徒四九
九五名卒業者ハ本年七四二名ニシテ前年ニ比スレバ〇九名ノ
増加ヲ示セリ而シテ本年入學志願者三・五四〇名中入學者一・八
五一名ナリ

縣立工業學校ハ一校ニシテ入學志願者四四九名中入學者一九一
名現在生徒六九九名教員五五名ナリ卒業者一二三名ニシテ前年
ニ比スレバ二七名ノ減少ヲ示セリ

商業學校トシテハ縣立商業學校一校市立商業學校一校計二校ニ
シテ入學志願者九〇五名中入學者三一四名現在生徒一・一〇七
名教員四八名ナリ卒業者二・七名ニシテ前年ニ比スレバ四名ノ
減少ヲ示セリ

高等女學校ハ縣立一校市立一校私立四校計六校ニシテ入學志願
者三・〇一〇名中入學者一・三九四名卒業者一・二四八名ニシテ
前年ニ比スレバ五名ノ減少ヲ示セリ

圖書館ハ高等師範學校所屬ノモノハ圖書數九一・一一七冊一ケ
年ノ閱覽人員一二・二一九人ニシテ平均一日三三人ナリ南隣ニ
高等師範學校附屬教育博物館一アリ

淺野圖書館ハ國泰寺町ニ在リ大正十五年十二月五日開館シ圖書
數三二・五〇七冊アリ

學 齡	種 別		男	女	計
	就學ノ 達シタル モノ	就學	12.223	11.719	23.942
	就學ノ 初期ニ シタル モノ	不就學	156	141	297
	計		12.379	11.860	24.239

兒 童	就學ノ初期ニ達 セザルモノ	2.182	2.085	4.267
	計	14.561	13.945	28.506
	就學ノ初期ニ達 シタル者百人中 就學歩合	89.74	98.79	98.77

校 別	數	教職員 保 姆	學生生徒及兒童	入 學 者	卒 業 者
高等師範學校	1	67	767	205	173
高等工業學校	1	39	236	111	92
高等學校	1	29	377	184	—
師範學校	1	26	548	190	171
幼年學校	1	11	152	50	49
中 學 校	6	210	4.995	1.851	742
商業學校	2	48	1.107	314	217
工業學校	1	55	651	191	123
高等女學校	6	209	5.166	1.394	1.248
小 學 校	24	530	27.449	4.958	4.571
盲啞學校	1	14	193	32	13
幼稚園	9	27	649	507	353
其他各種學校	16	149	1.635	1.254	292
計	70	1,470	43.925	11.241	8.044

廣 島 高 等 師 範 學 校	千 田 町	廣 島 縣 立 廣 島 商 業 學 校	南 竹 町 屋
廣 島 高 等 學 校	皆 實 町	市 立 廣 島 市 商 業 學 校	觀 音 町
廣 島 高 等 工 業 學 校	千 田 町	市 立 廣 島 商 業 專 習 學 校	袋 町
廣 島 高 等 師 範 臨 時 教 員 養 成 所	千 田 町	廣 島 縣 立 工 業 學 校	千 田 町
廣 島 第 一 中 學 校	國 泰 寺 町	市 立 廣 島 工 業 專 修 學 校	大 手 町 八 丁 目
廣 島 第 二 中 學 校	觀 音 町	廣 島 陸 軍 幼 年 學 校	基 町
廣 島 高 等 師 範 學 校 附 屬 中 學 校	千 田 町	私 立 修 道 中 學 校	千 田 町
廣 島 縣 師 範 學 校	皆 實 町	私 立 山 陽 中 學 校	南 竹 町 屋

私立廣陵中學校	宇品町八丁目	私立廣島教員講習所	國泰寺町
私立廣友中學校	大手町八丁目	私立廣島労働講習所	袋町
私立修道學校(修道中學校内)	千田町	私立廣島高等簿記學校	白島中町
私立廣島中學(山陽中學校内)	南竹屋町	私立廣島女子齒科醫學校	上流川町
私立鯉城中學(廣陵中學校内)	宇品町	私立廣島鍼灸學校	廣瀬町
私立眞愛中學校	觀音町	私立清輝舍	小町
縣立廣島高等女學校	下中町	私立廣島鍼灸學院	愛宕町
市立廣島高等女學校	船入町	私立フレーザ一英語學校	三川町
私立山中高等女學校	千田町	私立廣島育英學校	八丁堀
私立進德高等女學校	千田町	私立廣島高等美髮女學校	材木町
私立廣島女學校	上流川町	私立廣島產婆看護學校	三川町
私立安田高等女學校	西白島町	私立廣島看護助產學校	猪屋町
縣立廣島盲啞學校	小町	私立廣島女子商業學校	段原町
私立廣島法律專修學校	大手町八丁目	私立常盤女學校	觀音町

圖書館(高師内)	館數	圖書數	閱覽人員
淺野圖書館	1	91,117	12,219
	1	32,507	—

上水道

上水道——上水道ハ明治二十九年軍用水道ト相俟テ起工シ同三十一年竣工セリ。其ノ工費ハ軍用六三九、八四五圓ニシテ市有二九四、〇六五圓ヲ要セリ。而シテ軍用水道ハ同三十一年九月一日ヨリ向フ三十ケ年間本市使用ノ許可ヲ得タルモノニシテ同三十二年一月ヨリ陸軍諸官衙及市内一般ニ給水ヲ開始セリ當時ノ施設ハ人口一二〇、〇〇〇ニ對スルモノニシテ一日ノ最大給水量ハ四五〇、〇〇〇立方呎(七〇、二〇〇石)一人一日最大給水量三立方呎七五)ナリシガ戸口逐年増加シ僅々拾ケ年ニシテ給水限度ノ人口ヲ超ユルニ至リシカバ同四十年三月第一期擴張工事ヲ起シ同四十一年三月竣工セリ此ノ工費一四五、五九四圓ヲ要シ

人口一六〇、〇〇〇ニ對スル最大給水量六〇〇、〇〇〇立方呎(九三、六〇〇石)ヲ供給シ、尙豫備機械ヲ擧ゲテ使用スルニ於テハ優ニ給水量七五〇、〇〇〇立方呎(一一七、〇〇〇石)ノ需要ヲ充タスコトヲ得ルニ至レリ。然ルニ本市ノ發展著シク人口益々増加シ既設ノ設備ニテハ或ハ給水ノ不足アルヲ慮リ大正十年五月第二期擴張工事ヲ起シ同十三年六月竣工セリ此ノ工費ハ實ニ二一三〇、〇一七圓ニシテ人口二五〇、〇〇〇ニ對スル最大給水量(從來ハ一人一日最大給水量三立方呎七五ヲ五立方呎二五トス)一三一〇、〇〇〇立方呎(二〇二、〇〇〇石)ヲ供給尙豫備機械ヲ擧ゲテ使用スルトキハ優ニ二、〇〇〇、〇〇〇立方呎(三〇八、〇〇〇石)ノ需要ヲ充シ得ルニ至レリ。水源地ハ面積二九、六九〇坪沈澱池三個此ノ容積四八〇、〇〇〇立方呎(七四、〇〇〇石)濾過池七個此ノ濾過面積一三三、〇〇〇平方呎、砂溜池一個、量水池一個機關室一棟、取水唧筒室一棟、送水唧筒室一棟、量水室二棟アリ、山上ニ配水池五個ヲ設置シ此ノ容積三二五、〇〇〇立方呎(五〇、〇〇〇石)ナリ。又太田川沿岸(安藝郡牛田村)ニ取次場一ヶ所取水塔一基ヲ設ケ之レヨリ取水唧筒井迄自然流入シ唧筒ヲ以テ各池ニ引キ附近海拔一七〇呎ノ山上ニアル配水池ニ壓送シ所謂唧筒配水法ニ依リテ市内ニ配水セリ。其ノ本管ハ二四吋、二〇吋、八吋ノ三條ニシテ陸軍各兵營並ニ市内各町ニ及ブ各町道路上約五十間毎ニ一個ノ割合ヲ以テ公設防火栓ヲ設置セリ

上	區別	給水戸數	給水量	給水料
放水	專用栓	21,220	20,618.952	147,567.680
	共用栓	16,635	10,309.947	90,026.090

水	計量給水	家用	事業用	公用	5.792	16.134.503	182.863.780
		官衙	學校	社會			
		噴水	庭園	用	90	3.185.862	25.489.650
		湯屋	軍用	用	28	1.848.477	5.518.260
道	水栓數	陸軍	用	用	12	113.377	3.950.230
		船舶	用	用			
		合計			43.777	52.211.120	454.815.690
		合計					
配水管及栓	水栓數	全戸口			給水戸口		水道外ノ水ヲ使用スル戸口
		戸數 人口			戸數 人口		現住戸口百ニ對スル給水戸口
		45.601 186.928			45.777 179.451		1.824 7.477
							96 96
配水管及栓	水栓數	配水管			防火栓		
		軍用線長 市有線長 計			公設數 私設數 軍用數 計		
		30.068 ^米 169.688 ^米 199.756 ^米			1.022 782 306 2.110		
		7 ^里 17 ^町 50 ^間 38 ^里 29 ^町 03 ^間 46 ^里 10 ^町 53 ^間					
給水量比較	給水量	放任給水栓			計量給水栓		
		專用 公設共用 私設共用 計			專用 湯屋用 船舶用 陸軍用 計		
		21.026 353 2.149 23.528			10.605 586 9 1.899 13.099		
		合計			合計		
給水量比較	給水量	年 度			給水量 一日平均量		
		大正十二年			41.896.700 114.785 165.441 694		
		大正十三年			46.048.490 125.816 169.954 740		
		大正十四年			52.211.120 143.044 179.451 797		

衛生

衛生——塵芥搬出量ハ大正十四年中五・四三六・二六〇貫ニシテ之ニ要スル掃除人夫延四〇、一五〇人ヲ要セリ之ヲ前年ニ比スレバ塵芥搬出量一六九・八六〇貫ノ増加ヲ見掃除人夫延五・九八

一人ノ増加(戸口自然増加ニ依ル)ヲ示セリ

公設便所ハ大正十四年末五八個所ニシテ平均二個町ニ一個所強ノ割合トナル

大正十四年末ニ於ケル醫師現在數三五六名ニシテ昨年ニ比シ一七三名ノ増加ヲ見ル而シテ醫師一人ニ對スル現在人口ハ五二五人ナリ齒科醫師ハ一七名ニシテ昨年ニ比シ四四名ノ増加ヲ見ル

産婆ハ大正十四年末一六八名之ヲ昨年ニ比スレバ四三名減少セリ

傳染病患者ハ大正十四年中五三人ニシテ其ノ最モ多キハ二月一六人一月一四人七月五八人ナリ之ヲ前年ニ比スレバ總計ニ於テ六三人ノ減少ヲ示セリ而シテ傳染病死亡者ハ一六〇人ニシテ其ノ死亡者ノ最モ多キ病名ハ腸チフス一〇人疫痢二三人赤痢二人等トス又其ノ死亡者ノ年齢ヲ見ルニ三十歳乃至四十歳ノモノ最モ多シ

醫師其他	醫師	藥劑師	產婆	看護婦	鍼灸	按摩其他
	356	142	168	749	126	39
	齒科 117					
	病院數	醫師	藥劑師	調劑手	看護婦	入院患者
病院	17	57	29	一	75	2,345
	縣立廣島病院	水主町	私立進藤病院	細工町		
	縣立廣島診療院	船入町	私立吉永内科病院	西魚屋町		
	市立船入病院	船入町	私立廣島腦病院	白島西町		
院	私立博愛病院	下中町	私立清病院	細工町		
	私立堀田眼科病院	大手町八丁目	私立關西病院	國泰寺町		
	私立灘波病院	立町	株式會社眞宗病院	上流川町		
	私立澄川内科病院	大手町六丁目	私立中央病院	國泰寺町		
院	私立田邊外科病院	尾道町	私立江藤病院	小町		
	私立小久保病院	天神町				

傳 染 病	病 名 別	大 正 十 二 年		大 正 十 三 年		大 正 十 四 年	
		患 者	死 亡	患 者	死 亡	患 者	死 亡
	コ レ ラ	—	—	—	—	1	1
	赤 痢	57	15	169	29	46	12
	疫 痢	11	1	54	40	35	23
	腸 チ ブ ス	344	98	903	249	417	110
	痘 瘡	13	7	1	—	3	1
	發 疹 チ ブ ス	—	—	—	—	1	—
	猖 紅 熱	—	—	5	2	5	3
	バ ラ チ ブ ス	3	1	10	3	4	—
	ゲ フ テ リ ア	3	2	4	2	18	10
	流行性腦脊髄膜炎	3	2	19	16	1	—
	計	434	126	1,165	341	531	160
死 累 年 比 較	年 次	男	女	計	現住人口 千人ニ付		
	大 正 十 二 年	1,921	1,850	3,771	26.5		
	大 正 十 三 年	2,132	2,026	4,158	23.5		
	大 正 十 四 年	1,747	1,771	3,518	18.8		
衛 組 生 合	組 合 數	役 員 數	總會開會度數	講話開會度數	經 費 總 額		
	204	2,092	260	140	1,720		
塵 芥 搬 出 量	數	量	價	額			
		5,436.260		1,150			
公 設 便 所	両 便 所 併 置	小 便 所	收 入				
	56	2	—				
下 水 道	幹 支 線 長	人 口 數	燈 火 孔 數	各 延 戶 接 續 管 長	排 水 面 積		
	151.713 (138.456)	2,727	440	53.531 (29.445)	6.234307 (1.885.839)		

警察裁判警備刑務

警察・裁判・警備・刑務

警 察 署	署 數		所 轄 町 數		派 出 所		駐 在 所	
	4		117		33		4	
警 視 署	警 視		警 部		警 部 補		巡 査 部 長	
	2		4		11		29	
裁 判 所	判 事		檢 事		司 法 官 試 補		書 記 長 及 監 督 書 記	
	10		—		—		1	
所	同 檢 事 局		—		—		—	
	—		4		—		1	
所	廣 島 地 方 裁 判 所		—		—		—	
	13		—		—		1	
所	同 檢 事 局		—		—		—	
	—		5		—		1	
所	廣 島 區 裁 判 所		—		—		—	
	3		—		—		1	
所	同 檢 事 局		—		—		—	
	—		4		—		1	
辯 護 士 公 證 人	辯 護 士		公 證 人		計			
	68		3					
盜 難	區 別		貨 幣		穀 類		衣 類	
	被 害 貨 財	259,172	119	36,359	89,128	384,778		
變 死 者	發 見 貨 財		110,076		100		34,265	
	110,076	100	34,265	48,631	193,072			
火 災	自 殺		過 失		殺 害		災 害	
	38	30	4	12	1	85		
火 災	男		—		—		—	
	13	3	—	—	4	20		
火 災	女		—		—		—	
	51	33	4	12	5	105		
火 災	度 數		軒 數		燒 失 坪		損 害 高	
	116	130	2,108	858,395				

消 防	組 數	組 頭	小頭部長	小 頭	信 號 擔當者	消 防 手	計		
	1	1	14	8	23	226	262		
刑務所	刑 務 所 長	典獄補	看守長	監獄醫	教誨師	看守	女 監 縮	其 他	計
	1	—	9	4	6	178	15	31	244
區 別	男		女		計				
受 刑 者	649		21		670				
刑 事 被 告 人	577		13		590				
勞 役 場入場者	57		2		59				
携 帶 乳 兒	—		—		—				
計	1,283		36		1,319				

救 恤

救 恤

區 別	國 費	市 費		施 療	濟 生 會	計
		食 費	施 療			
人 員	人 2	人 123	人 140	人 79	人 344	人 344
金 額	円 96	円 4,245	円 3,125	円 1,312	円 8,778	円 8,778
區 別	男		女		計	
行 旅 病 人	59		7		66	
行 旅 死 亡 人	7		—		7	
計	66		7		73	
精 神 病 者	26		7		33	

商 工 業

商工業——商業會議所議員三六名特別議員一二名選舉權ヲ有スル

モノ三一〇九名經費三七九三九圓ナリ

産業組合二二組、同業組合一三組、準則組合四組、漁業組合四

組、任意組合五四組、畜産組合一組、計九八組ナリ

會社ハ本店三二〇支店九二ニシテ之ガ業別左ノ如シ

工業一四五商業一四八其他一一九ナリ今其ノ組織別ヲ見ルニ株

式會社一九七、合資會社一四五、合名會社六二、相互會社八ナ

リ銀行ハ本店四支店及出張所四〇ニシテ本店ノ資本金總額二〇

〇〇〇、〇〇〇圓ナリ而シテ本支店預金總額六二九、七七一六、五三

〇圓ニシテ前年ニ比スレバ三六九九一九圓ノ減少ヲ示セリ

工場(職工五人以上ノモノ)四五八箇所ニシテ職工總數九七七九

(男五、六〇九)ナリ今之ヲ業態ニ依テ分類スレバ飲食料品及嗜好

好品製造業一〇一、金屬工業五〇、纖維工業二一、木竹類ニ關

スル製造業七八、機械器具製造業三六、化學工業三九、其他一

三三ナリ瓦斯使用戸數一〇、七八四一ケ年間ニ於ケル瓦斯使用

量ハ一五四、三七二、一四五立方呎此ノ價額四〇三、八九九圓ナ

リ之ヲ前年ニ比スレバ使用戸數二、一四七戸増加セリ

電燈需用戸數四七、三三三電力需用戸數一、二七八戸トス之ヲ前

年ニ比スレバ電燈需用戸數一、七三〇電力需用戸數九六戸増加

セリ

供給電量ハ一三、〇三九、〇〇〇KWニシテ電力及電燈ノ料金ハ

二、三四二、三〇五圓ナリ

商 業 家	本 業		副 業		計	
	戸 數	人 員	戸 數	人 員	戸 數	人 員
	9,858	19,494	1,235	2,468	11,039	21,962
工 業 家	本 業		副 業		計	
	戸 數	人 員	戸 數	人 員	戸 數	人 員
	6,745	20,106	539	835	7,284	20,941

工場 (職工十人以上)	工場數	動力		職工	
		簡數	馬力數	男	女
	174	358	18,885	4,325	3,789

市場	市場名		場數	賣買高
	公設	市場		
	町設	市場		
	私設	市場		
			4	1,265.751
			10	287.200
			14	9,240.210

區別	組合數		組合員	
	組	合	組	合
產同準任漁蓄	業組	合	22	?
	業組	合	13	13,088
	業組	合	4	361
	業組	合	54	?
	業組	合	4	882
	業組	合	1	11

劇場及寄席 興行場	區別	場數	一ケ年	
			觀客數	收入高
	劇場	4	448,054	173,286
	寄席	2	190,201	47,550
	興業場	8	1,508,084	334,665
	計	14	2,146,339	555,501

勸商場	總數		店舖數	
		5		183

電氣	線路長	線條長	電燈需要戶數	電力需用	
				戶數	總馬力數
	93.90	612.10	47,333	1,278	6,521

瓦斯	瓦斯管延長		供給戶數	供給高
	1,615.110		10,784	154,372.145

區別	輪移入		輪移出	
	縣外	縣內	縣外	縣內
縣外	輪移	102,070.124	輪移	91,885.013
縣內	輪移	4,251.647	輪移	289.674
縣內	輪移	5,481.035	輪移	4,878.019

縣外輪移出 入品中主要ナルモノ	別	輪移入		輪移出	
		縣外	縣內	縣外	縣內
	洋產	5,000.000		1,000.000	
	打績	—		2,400.000	
	紡績	3,500.000		9,800.000	
	人造	—		5,138.000	
	絹織	6,000.000		800.000	
	絹織	7,500.000		5,000.000	
	綿織	9,600.000		6,000.000	
	麻織物(着尺物)	—		2,250.000	
	洋服	1,500.000		300.000	
	洋支	2,047.500		190.000	
	罐	260.000		4,550.000	
	鮮魚	3,000.000		—	
	食鹽	82.800		3,548.000	
	葉煙草	3,375.189		1,832.579	
	刻煙草	962.978		2,214.070	
	卷煙草	1,399.507		6,956.049	
	雨傘	45.000		2,500.000	
	筆筒	—		2,250.000	
	丸太	9,000.000		2,100.000	
	角材	10,000.000		1,300.000	

主要ナルモノ 字品港輸出入品中	別	輪移入		輪移出	
		縣外	縣內	縣外	縣內
	石木	769.128		—	
	豆	731.526		—	
	鷄牛	608.780		—	
	落	430.326		—	
	鱗	308.636		—	
	打	227.426		—	
	疊	—		91,255	
	縫	—		32,941	
	清	—		29,576	
		—		27,804	
		—		22,974	

要ナルモノ 宇品港移出 品中主	生魚貝類	834.800	237.150
	大豆	670.000	35.600
	石炭	540.000	—
	綿織物	407.000	—
	罐詰肉酒	374.350	79.190
	鳥獸	262.500	1,204.350
	清酒	262.500	70.000
		51.760	133.200

株取引式所	年次	賣高		買高		受渡高		實物取引高	
		株數	價額	株數	價額	株數	價額	株數	價額
	大正十三年	1,910.510	187,305.981	144.750	13,161.950	—	—	—	—
	大正十四年	2,037.340	216,998.372	156.760	20,017.730	—	—	—	—

平玄均米相一場石	年次	上米	中米	下米
	大正十二年	33.330	32.240	30.020
	大正十三年	39.036	37.891	35.633
	大正十四年	42.150	40.950	38.560

工産物	品目	數量	價額	戶數	職工
	綿糸	22,230	7,173.811	2	1,473
	人造絹糸	1,835.000	5,138.000	1	1,363
	精米	110.323	4,302.598	149	327
	罐詰	1,722.433	4,095.564	32	511
	製綿	576.039	2,579.383	21	502
	印刷物	?	1,830.211	44	492
	菓子類	7,035.808	1,553.471	153	594
	金物類	?	1,413.260	181	729
	色水綿	1,171.526	1,321.926	6	—
	護謄製品	?	1,216.408	9	352
	洋紙	8,823.261	1,191.140	1	185
	製材	?	1,024.994	52	200
	酒類	9,236	785.515	12	141
	洋吸類	50.760	783.762	99	380

工

其	他	?	8,125,794	1,788	2,250
計		?	55,781,010	3,618	13,139

備考 一ヶ年生産額二十万圓以上ノモノヲ掲記セリ

工	飯村鐵工所	鐵工業	廣瀬町
	海塚ナツト製造所	機械用ナツト	段原町
場	平尾工業部	鑄鐵工業	吉島町
	山田文具金屬製造所	鉛筆金具製造	蟹屋町
	廣島板金製作所	文具金具製造	南竹屋町
	壽美商店鑑札製作所	自轉車自動車鑑札	水主町
	三谷金屬製作所	文具及絞出製造	廣瀬町
	住野甲馳工場	足袋用甲馳製造	廣瀬町
	幡七製針工場	製針業	東白島町
	横山製針工場	同	西引御堂
	青木製針工場	同	匠町
	三宅製針工場	同	天神町
	南北製針工場	同	廣瀬町
	奥田金ハン製造所	金ハン製造	廣瀬町
	船越ゴム工業所	ゴム製品製造	上柳町
	中垣製菓工場	菓子製造業	段原町
	藤井兄弟商會製菓工場	菓子製造業	尾長町
	木村罐詰製造所	罐詰製造業	廣瀬町
	新見罐詰製造所	罐詰製造業	南竹屋町
	辻本昆布製造所	刻昆布製造業	廣瀬町
	松木皮革工場	皮革製造業	廣瀬町
	津崎商店廣島製材所	製材業	福島町
	宮本瓶冠製工場	瓶冠製織業	船入町
	御大西島擦糸活版所	同	皆實町
	廣增田兄弟活版印刷所	同	千田町
	廣陵オフセツト印刷所	同	南竹屋町
			廣瀬町
			千田町
			鹽屋町
			西九軒町

備考 本表ハ法人ニアラザル工場ニシテ職工二十五人以上ヲ掲載ス

農 業

農業——本市ニ於ル農業戸數五、二一五戸人員七、七六〇人ニシテ之ヲ昨年ニ比スレバ戸數二〇戸人員六三人ノ減少ヲ見ル而シテ主ナル農産物ハ蔬菜(一ヶ年産額八四七、三一六圓)麥(一ヶ年産額二四〇〇五六圓)米(一八〇、〇五四圓(棉一ヶ年産額二九、二九五圓)其他(七二、六五〇圓)(計一、三六九、三七一圓)ナリ之ヲ前年ニ比較スレバ二六二五二圓減少セリ畜産物ハ一ヶ年搾乳一八八五石其價額一〇三六七五圓ニシテ前年ニ比シ四七八石二六、二九〇圓減少セリ

大正九年一月市農會ヲ設立シ爾來順調ナル發達ヲ遂ゲ特ニ蔬菜園藝地トシテ中國第一ノ稱アリ

農 業 戸 數	農 業 者		農 業 地	
	專 業	兼 業	自作地	小作地
1,581	3,634	5,215	2,168	5,592
7,760	3,452	6,315	9,967	
種 別	作 付 反 別		收 穫 高	
	米	麥	石	圓
米	201.2		5,410	180.054
麥	518.3		15,810	240.056
其他農産物	?		?	949.261
飼 畜 頭 數	牛		豚	
	326	359	2,435	—
家 禽	飼 養 戸 數		家 禽 數	
	2,989	36,024	1,383,440	
牛 乳	搾 取 所 數		搾 乳 高	
	9	171	1,885	103.675
屠 殺	屠 場 數		斤 量	
	2	牛 犢	17,944	955,981
			62	622
				2,536,204
				1,562

(26)

屠 殺	2	馬	69	2,748	4,947
		豚	1,631	27,305	51,0227
		計	19,706	986,656	2,593,735
家畜賣買	牛	馬	豚	計	賣 買 高
	13,108 47	87	8	13,250	1,996,491

水 産

水 産——本市ニ於ル大正十四年末水産業戸數六四六戸人員一九二三人ニシテケ年ノ産額澁海苔一五・五四〇〇圓鰯四〇・八〇圓黒鯛六〇・〇〇〇圓刺五五・〇〇〇圓牡蠣三〇・八〇〇圓其他一・二・九四六圓計四六三九四六圓ナリ

大正十二年六月市水産會ヲ設立シ水産業ノ向上發達ニ努力中ナリ

漁業戸口	區 別	戸 數	漁 業 者		
			男	女	計
漁 獲 物	本 業	360	524	220	744
	副 業	286	658	521	1,179
漁 獲 物	魚 類	貝 類	其 他	計	
	175,550	90,400	42,596	308,546	
水産製造物	種 別	數	量	價	額
	澁 海 苔		8,400	實	155,400
	鮎 製 品		39,800	尾	7,140
	脊 黒 鰯		15,000	實	30,000
	蒲 銚 其 他		52,585	實	157,755

會 社

會 社——市内ニ於ケル會社ハ本店三二〇資本金九七・三六四・八四〇圓ニシテ支店五六ナリ

會

社

區 別	本 店	支 店	資本金總額	拂 込 額	積 立 金
株 式 會 社	118	81	90,879,000	53,279,598	2,665,264
合 資 會 社	143	2	3,467,520	3,317,520	331,729
合 名 會 社	59	3	3,018,320	3,018,320	303,035
合 夥 會 社	1	6	—	—	—
計	320	92	97,364,840	59,615,438	300,028
廣 島 電 氣 株 式 會 社				電 燈 電 力 供 給	大手町七丁目
藝 備 鐵 道 株 式 會 社				鐵 道 運 輸	蟹屋町三丁目
廣 島 瓦 斯 電 軌 株 式 會 社				瓦斯供給電車運輸	大手町三丁目
廣 島 蓄 産 株 式 會 社				罐 詰 製 造	大手町二丁目
本 場 關 戸 蚊 帳 株 式 會 社				麻 織 物 製 造	廣瀬町
廣 島 臨 港 土 地 株 式 會 社				土 地 開 拓 開 墾 整 理	宇品町
株 式 會 社 松 浦 商 店				加 硫 磺 製 造	鐵砲町
茂 森 工 業 株 式 會 社				工 業 製 造	段原町
明 治 足 袋 株 式 會 社				足 袋 製 造	天満町
日 乃 出 醬 油 株 式 會 社				醬 油 及 味 噌	宇品町
中 國 製 紙 株 式 會 社				洋 紙	吉島町
大 崎 電 氣 株 式 會 社				電 燈 電 力 供 給 事 業	大手町八丁目
廣 島 土 地 建 物 株 式 會 社				土 地 建 物 賣 買 賃 貸	堀川町
株 式 會 社 星 製 藥 廣 島 配 給 所				製 藥 卸 賣	猿樂町
合 資 會 社 瀬 川 倉 庫				倉 庫 業	西地方町
廣 島 觀 音 地 先 埋 立 株 式 會 社				地 先 開 拓 及 開 墾	下中町
廣 島 炭 加 製 造 株 式 會 社				炭 酸 カ ル シ ュ ー ム 製 造	船入町
煙 福 醬 油 株 式 會 社				醬 油 釀 造	船入町
關 西 林 業 株 式 會 社				製 材 製 炭 及 製 鐵 賣 買	河原町
廣 島 製 鉛 株 式 會 社				水 鉛 製 造 販 賣	觀音町
東 洋 コ ル ク 工 業 株 式 會 社				壓 搾 コ ル ク 板 コ ル ク 粒 コ ル ク 瓶 栓 製 造	吉島町
株 式 會 社 淺 枝 罐 詰 製 造 所				罐 詰 製 造 販 賣	廣瀬町
株 式 會 社 廣 島 電 機 製 作 所				電 氣 機 械 器 具 製 造	段原町
廣 島 製 紙 株 式 會 社				板 紙 製 造 販 賣	吉島町
廣 島 製 酒 株 式 會 社				燒 酎 製 造 販 賣	船入町
廣 二 葉 鑽 泉 株 式 會 社				飲 料 水 製 造 販 賣	廣瀬町
株 式 會 社 宇 品 造 船 所				造 船 造 機	元宇品町

報濟製藥株式會社
株式會社廣島株式會社
廣島物產株式會社
東洋水產株式會社
株式會社大西商店
廣島倉庫運送株式會社
藝備倉庫株式會社
株式會社廣島印刷所
合名會社藤野製綿所
日清燐寸株式會社
山陽燐寸株式會社
合名會社湯澤綿行
株式會社藝備日々新聞社
株品土地株式會社
株式會社立石商店
共益無盡株式會社
株式會社廣島ホテル
株式會社中野商店
廣島木材工業株式會社
中國塗料株式會社
宇品運送株式會社
柴田兄弟土地建物合名會社
中部分合同コークス株式會社
廣島電氣火葬株式會社
合資會社清水德商店
株式會社大正屋吳服店
橫山商事株式會社
合資會社葛屋吉川洋服店
中外石碎株式會社
中國コム工業株式會社
甲立木工株式會社
日向木炭製材株式會社
廣島縣農產株式會社

製藥販賣
有價證券取引買賣
倉庫米穀肥料販賣
鮮魚海產物委託販賣
砂糖糖商
運送業
倉庫業
活版印刷業
製綿製織造
燐寸製織造
燐寸製織造
板材料販賣並木材
防腐製綿業
新聞紙發行
海面埋立業
織物販賣業
無盡經營
ホテル經
洋反物及綿布加工
製材業
塗料化學工業用品製造
海運業
土地家屋賃貸
コックス販賣
人畜燒屍
吳服太物卸賣
吳服太物商
ゴム製品販賣
洋服製造
銀砂中粉粉末製造
ゴム品製造業
製材業
木炭製造販賣及製材
農具製造販賣

稻荷町
銀山町
大須賀町
大手町七丁目
堀町二丁目
蟹屋町
蟹屋町
八丁堀
愛宕町
細工町
三川町
河原町
愛宕町
大手町二丁目
元宇品町
元柳町
大須賀町
播磨屋町
平田屋町
千田町
吉島町
宇品町
小網町
千田町
尾長町
天神町
細工町
平塚町五丁目
觀音町
南竹屋町
八丁堀
千田町
十日市町

島本商事合資會社
廣島罐詰株式會社
株式會社桐原製樽工場
株式會社大和屋商會
廣島カラメル製造株式會社
丸五合名會社
關西藥業株式會社
日本冷蔵海運株式會社

金錢貸付
罐詰製造
セメント樽製造
飲料水製造販賣
カラメル製造
木材販賣
賣藥問屋
海運業

京橋町
觀音町
船入町
大手町八丁目
吉島町
水主町
鷹匠町
河原町

備考 本表ハ資本金拾五萬圓以上ヲ掲載ス

(資本金順)

銀行及金融

銀行及金融——銀行ノ本店四支店一七行ニシテ本支店ノ一ケ年總

預金額六二九・七一六・五三〇圓ナリ

銀	銀 行 數	資 本 總 金 額	拂 込 額	積 立 金	
	4	20,000,000	6,590,000	3,524,489	
	支 店 及 出 張 所	市内ニ本店ヲ有スルモノ	市内ニ本店ヲ有セザルモノ		
		15	25		
行	預 金	區 別	官 公 預 金	普 通 預 金	貯 蓄 預 金
	一 ヶ 年		123,374,910	499,714,354	6,627,266
	半 末 現 在		3,383,197	100,119,675	16,298,640
	貸 金	區 別	貸 付 金	當座預金貸越	計
	一 ヶ 年		193,250,190	90,534,528	283,784,718
	半 末 現 在		56,951,090	6,189,288	63,140,378
諸 手 形	送 金	拂 出	受 込		
		106,292,571	75,391,545		
	荷 爲 替	貸 出	取 立		
		13,844,197	31,279,014		

銀行	諸 手 形	割 引 代 金 取 立	當 所	他 所
			當 所	他 所
			22,212.383	101,285.531
			55,494.582	50,339.480

銀行	株式會社藝備銀行	元柳町	株式會社共榮銀行	廣島支店	大手町三丁目
	株式會社廣島縣農工銀行	大手町四丁目	株式會社東明銀行	廣島支店	大手町三丁目
	株式會社廣島産業銀行	中島新町	株式會社不動貯金	銀行廣島支店	大手町四丁目
	株式會社廣島合同貯蓄銀行	銀山町	株式會社第一銀行	廣島支店	大手町一丁目
	株式會社澤原銀行	廣島支店	株式會社加島銀行	廣島支店	革屋町
	株式會社尾道銀行	廣島支店	株式會社十五銀行	廣島支店	堀川町
	株式會社尾道銀行	大手町支店	株式會社安田銀行	廣島支店	平田屋町
	株式會社日本銀行	廣島支店	株式會社近江銀行	廣島支店	大手町二丁目
	株式會社三十四銀行	廣島支店	株式會社鴻池銀行	廣島支店	播磨屋町
	株式會社三井銀行	廣島支店	株式會社藤本ビルプロカー	銀行廣島出張所	堀本町
銀行	株式會社住友銀行	廣島支店			中島本町

手形交換	年次	一ヶ年交換枚數	同上金額
	大正十二年	318,648	190,477.129
	大正十三年	344,743	205,668.563
	大正十四年	377,612	269,916.471

郵便貯金	年次	預入	拂戻	年末現在
	大正十二年	5,593.683	5,838.402	5,952.151
	大正十三年	5,357.697	6,282.459	5,721.451
	大正十四年	4,950.672	5,830.363	6,117.650

振替貯金	年次	振替金額	拂戻金額
	大正十二年	3,096.875	4,126.111
	大正十三年	4,687.792	4,263.694
	大正十四年	3,564.677	3,885.732

郵便爲替	年次	振出	拂渡
	大正十二年	4,428.780	9,181.711
	大正十三年	4,792.734	9,673.113
	大正十四年	4,767.300	9,159.413

質屋貸金	年次	店數	貸出高	受戻高	流質高	年末現在
	大正十二年	155	920.418	618.733	56.851	261.919
	大正十三年	150	1,217.442	495.168	78.374	643.900
	大正十四年	163	1,335.046	339.188	69.677	926.181

交通

道路——道路ハ大正十四年末ニ於テ延長九〇里九町五間其ノ面積三一五・九八三坪ニシテ内國道ハ一里一九町一三間(一二・二八四坪)縣道ハ三里二一町三四間(三五・七八五坪)其ノ他ハ市道ナリ

國道ハ本市ノ中央ヲ東西ニ貫通シ縣道ハ南北ニ二線相通セリ

橋梁——橋梁ハ鐵橋四鐵筋混凝土三木橋一六木及鐵筋混凝土混合橋一ニシテ延長ノ最モ長キハ御幸橋ノ一四間ニシテ常磐橋ノ九四間之ニ次グ而シテ其ノ幅員ハ四間五分乃至二間三分ナリ

鐵道——鐵道ハ市ノ北端ヲ東西ニ通過セリ而シテ糸崎驛ヨリ廣島驛ニ開通セシハ明治二十七年六月ニシテ廣島徳山間ハ明治三

十年九月ノ開通ニ係レリ廣島驛ヨリ吳ニ通ズル線ハ明治三十年十二月ノ開通ニシテ距離一六哩宇品線ハ明治二十七年八月ノ開通ニシテ其ノ距離僅ニ三哩餘ナリ藝備鐵道ハ本市ノ東端ヨリ安藝・安佐・高田・双三ノ四郡ヲ經テ比婆郡庄原町ニ通ズ距離五五哩八分ヲ有シ大正十二年十二月開通セリ廣島・横川・己斐・東廣島ノ各驛ニ於ケル大正十四年中ノ乗客數ハ一・九五一・七一二人降客一・九七三・六七九人ニシテ平均一日乗客五・三四六人降客五四〇七人ナリ

軌道——軌道ハ明治四十二年六月廣島瓦斯電軌株式會社ヲ創設シ大正元年十一月開通セリ其ノ延長ハ八哩二四三ニシテ停留所四一箇所車輛七〇輛本年乗客三〇・一〇五・〇一一人ニシテ平均一日八二・四七九人ナリ大正十五年七月ヨリ宮島ニ至ル電車軌道ヲ開通セリ

船舶——(宇品入港船舶)——宇品港ハ本市南端ニ突出セル築港ニシテ明治十七年起工同二十二年竣工セリ大正十四年中ニ於ケル宇品入港船舶ハ九六・七五七艘ナリ

棧橋——(通行人員)——棧橋通行人員ハ乗船二〇八・二六七人上陸一四四・二五〇人ナリ

本市ハ太田川ノ下流ニ位シ太田川ハ六派ニ分レテ市内ヲ貫流スルガ故ニ水源地方及廣島灣ヨリ出入スル貨物ノ輸送至便ナリ

宿屋	旅人宿		下宿屋	旅人宿泊人員		一日平均	
	3°0		6°	192.230		526	
宇品港	區別	汽船		帆船		計	
		船數	總噸數	船數	總噸數	船數	總噸數
	貨客船	15.797	3.767.159	70.284	1.124.537	86.081	4.891.696

入港船舶	漁船	一	一	一	一	一	一	
	避難船	一	一	一	一	一	一	
	計	15.797	3.767.159	70.284	1.124.537	86.081	4.891.696	
汽船乘降客	乘	客			降	客		
		208.267			144.250			
鐵道	廣島驛	1.311.521			1.367.609			
	橫川驛	114.359			113.887			
	己斐驛	312.572			285.745			
	東廣島驛	213.260			206.438			
電車	電車數	乘客數	貨金	運轉哩數				
	70	30.105.011	982.680	2.015.229				
諸車	自動車	自轉車	人力車	荷車	荷馬車	其他	計	
	113	19.292	578	7.874	377	4.240	32.474	
郵便局	電報取扱局	電信局	公衆電報取扱所	電話局	電話交換局	電話通話局	公衆電話	郵便函
	28	1	8	一	1	5	13	254
通常郵便物	區別	普通	書留	價格表記		計		
	引受	41.490.623	510.266	18.439		42.019.328		
	配達	29.997.679	554.832	15.126		30.567.637		
	小包郵便物	引受	278.384	207.562	3		485.949	
便	配達	224.303	159.307	4		383.614		
	廣告郵便物引受		集金郵便物引受		集金郵便物配達			
	47.412		28.239					

電 信	電 報	區 別	內 國		外 國		計
			發 信	通	通	通	
電 信	電 報	發 信	551.704	3.423		555.127	
			560.982	3.432		564.414	
電 話	電話加入者	加入者	電 話 機				
			通 常	卓 上	公 衆	私 設	計
電 話	及 電 話 機	3.464	3.362	705	13	601	4.681

市會議員職員財政

議員、委員

議 員	區 別		議 員		選 舉 有 權 者	
	衆 議 院	縣 會	市 會			
議 員				1		9.988
				12		11.331
				39		25.414
市 參 事 會 員						
市 學 務 委 員						
						6

市吏員

市 長	助 役	收 入 役	主 事	病院長	技 師	視 學	市 醫
1	2	1	8	—	5	2	3
獸 醫	調 劑 員	書 記	書 記 補	技 手	技 手 補	機 關 手	機 關 手 補
2	1	118	34	27	3	4	—
掃 除 監 督 長	掃 除 監 督	掃 除 巡 視	雇 員	守 衛	其 ノ 他	計	
兼 1	2	17	2	3	75	311	

財 政

市 普 通 經 濟	年 次	歲 入	歲 出		一 月 平 均 額		一 人 平 均 額	
			經 常 部	臨 時 部	歲 入	歲 出	歲 入	歲 出
市 普 通 經 濟	同 十 二 年	4,750.541	1,826.684	1,257.480	3,084.165	107.000	69.464	27.651
	同 十 三 年	4,815.164	1,987.447	1,366.579	3,354.026	106.082	73.923	27.172
	同 十 四 年	4,173.324	2,007.187	1,014.715	3,021.902	91.518	66.268	22.325

市 特 別 經 濟	年 次	歲 入	歲 出	歲 入	歲 出	歲 入	歲 出
市 特 別 經 濟	同 十 二 年	1,564.830	279.760	673.397	953.153	35.244	21.468
	同 十 三 年	1,199.666	307.626	549.094	856.720	26.422	18.875
	同 十 四 年	1,493.303	328.963	864.777	1,193.740	32.747	26.178

市 費 歲 入	年 次	財 產 所 得 稅 收 入	使 用 料 及 手 數 料	雜 收 入	前 年 度 繰 越 金	補 助 金	市 稅	其 他	計
市 費 歲 入	同 十 二 年	15.748	210.849	98.023	1,476.784	44.992	2,172.014	736.777	4,755.187
	同 十 三 年	19.270	225.717	120.325	1,666.376	57.791	2,327.401	498.282	4,815.162
	同 十 四 年	21.073	225.886	111.645	1,461.138	24.479	2,177.982	151.123	4,173.326

市 費 歲 出	年 次	役 所 費	土 木 費	衛 生 費	教 育 費	勸 業 費	其 他	計
市 費 歲 出	同 十 二 年	238.536	173.107	222.495	1,067.600	19.382	2,318.243	4,039.363
	同 十 三 年	287.196	143.425	203.684	1,138.719	14.884	1,566.117	3,351.025
	同 十 四 年	291.425	89.822	135.900	1,068.883	22.353	1,413.521	3,021.904

諸 稅 負 擔	區 別	稅 額	現 在 戶 數 一 戶 二 付	現 在 人 口 一 人 二 付
諸 稅 負 擔	國 稅	2,791.268	61.216	14.932
	市 稅	2,177.982	47.762	11.652
計		4,969.250	108.950	26.584

市 債	舊 債 償 還 ノ タ メ	下 水 道 費 ト シ テ	其 他	計
市 債	—	—	3,127.282	3,127.282

市 有 財 產	部 落 有 財 產	計
市 有 財 產	部 落 有 財 產	6,594.640
		50.082

衛 公 官

官公衙及公共圍体

[illegible]

日	本	赤	十	字	社	廣	島	支	部	千	田	町	廣	島	育	兒	院	尾	長	町
愛	國	婦	人	會	廣	島	支	部	千	田	町	廣	島	育	兒	院	尾	長	町	町
帝	水	救	濟	品	護	所	後	援	字	品	町	廣	島	修	養	院	千	田	町	町
帝	難	水	難	救	濟	會	廣	島	縣	廳	內	廣	島	養	老	院	尾	長	町	町
廣	島	島	社	會	協	會	支	部	縣	廳	內	廣	島	海	外	會	廣	瀨	町	町
廣	島	島	聯	合	保	護	支	部	縣	廳	內	廣	島	民	致	支	廣	縣	町	町
廣	島	島	島	修	道	道	支	部	縣	廳	內	福	石	一	島	部	島	中	町	町
									大	賀	町	樂					田			

保 險

保險會社

東華生命保險株式會社廣島支部	中 町	國華徵兵保險株式會社廣島支部	大手町四丁目
共同生命保險株式會社廣島支部	猿樂町	片倉生命保險株式會社中國支部	大手町二丁目
萬壽生命保險株式會社中國支部	中島新町	住友生命保險株式會社廣島支部	斜屋町
有隣生命保險株式會社中國支部	堀川町	橫濱火災保險株式會社廣島出張所	猿樂町
明治生命保險株式會社廣島出張所	大手町三丁目	日本火災保險株式會社廣島出張所	大手町四丁目
仁壽生命保險株式會社廣島支部	大手町三丁目	日本共立火災株式會社廣島出張所	鹽屋町
東洋生命保險相互會社廣島出張所	下流川町	第一火災保險株式會社廣島駐在所	堺町四丁目
共保生命保險株式會社廣島支店	袋 町	豐國火災保險株式會社廣島支店	尾道町
日本醫師共濟生命保險相互會社廣島地方部	八丁堀	蓬萊生命保險相互會社廣島出張所	小 町
愛國生命保險株式會社中國支部	大手町四丁目	第一生命保險相互會社廣島地方部	田中町
大安生命保險株式會社廣島支店	大手町三丁目	福德生命保險株式會社中國支部	山口町
高砂生命保險株式會社廣島支社	袋 町	日本徵兵保險株式會社廣島出張所	播磨屋町
東洋生命保險株式會社中國支店	堺町四丁目	福壽生命保險株式會社廣島支部	西魚屋町
壽生命保險株式會社廣島支部	小網町	富士生命保險株式會社中國支部	平田屋町
大平生命保險株式會社廣島支店	斜屋町	大同生命保險株式會社中國支部	紙屋町
常盤生命保險株式會社廣島支所	研屋町	日之出生命保險株式會社廣島支部	針屋町
國光生命保險相互會社中國支部	細工町	千代田生命保險相互會社廣島支部	大手町二丁目
東洋生命保險相互會社廣島出張所	下流川町	太陽生命保險株式會社廣島支社	堺町二丁目
日本生命保險株式會社廣島支店	大手町四丁目	萬歲生命保險株式會社廣島支部	大手町三丁目

大正生命保險株式會社廣島支社	八丁堀	大海上保險株式會社廣島出張所	斜屋町
共濟生命保險株式會社廣島支店	革屋町	東京動產保險株式會社中國支部	中町
八千代生命保險株式會社廣島支社	大手町三丁目	大福海上保險株式會社廣島出張所	紙屋町
日清生命保險株式會社中國支社	大手町一丁目	日本簡易火災保險株式會社廣島出張所	鹽屋町
帝國生命保險株式會社廣島支店	大手町三丁目	新日本海上保險株式會社廣島支店	八丁堀
橫濱生命保險株式會社廣島支店	猿樂町	日華生命保險株式會社廣島支店	大手町三丁目
東邦火災保險株式會社廣島駐在所	元柳町	富國徵兵保險相互會社廣島支店	大手町七丁目
東神火災保險株式會社廣島營業所	中島新町	帝國火災保險株式會社廣島支店	天神町
朝日海上保險株式會社廣島出張所	水主町	旭生命保險株式會社廣島支店	大手町七丁目
共同火災保險株式會社廣島出張所	鹽屋町		

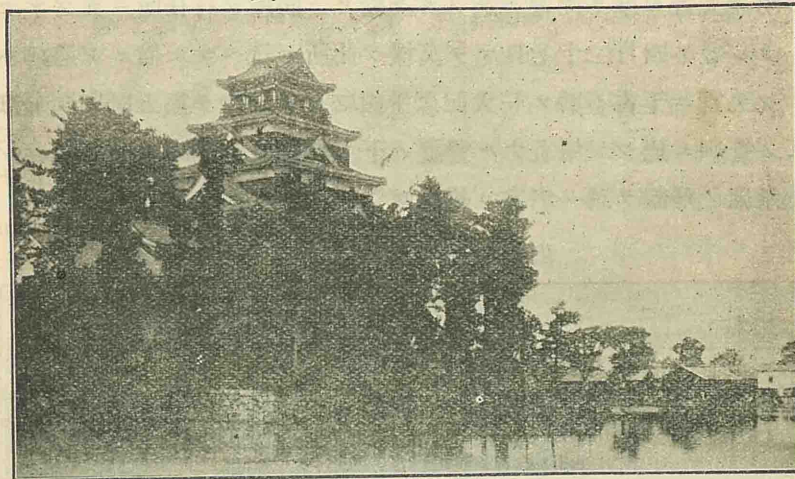
新聞社

藝備日日新聞社	大手町二丁目	大阪時事新報社廣島支局	天神町
中國新聞社	上流川町	山陽新報社廣島支局	大手町八丁目
廣島毎日新聞社	尾道町	廣島日日新聞社	八丁目
大阪朝日新聞社廣島通信部	紙屋町	廣島新聞社	銀山町
大阪毎日新聞社廣島通信部	大手町二丁目	吳公論社廣島支局	八丁堀

名所舊蹟

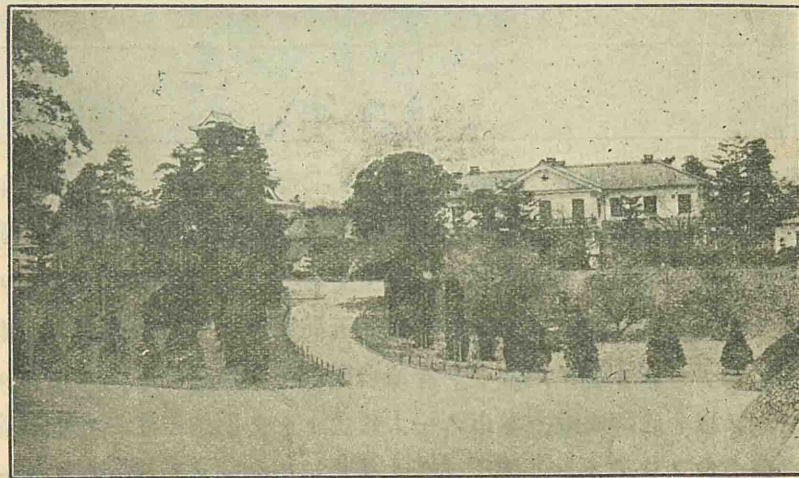
廣島城址——天正年間國主毛利輝元卿此地ヲ相シ、黒田孝高ノ設計ニ遵ヒ家臣二宮就辰ヲ奉行トシテ天正十七年經始シ、文祿二年工ヲ竣レリ其後毛利氏封ヲ長門ニ徙サルルヤ慶長五年福島正則之ニ移リ、後元和五年淺野長晟公紀州ヨリ入ツテ安藝ノ全部並ニ備後ノ北部八郡ヲ領シ傳ヘテ十二代長勳侯ニ至ル、淺野氏ノ此ノ城ニアリテ治スル事實ニ二百五十有餘年ナリ、明治維新ニ際シテ城ヲ廢シ、明治四年ニ至リ鎮西鎮臺第一分營ヲ此地ニ置カレ、現在ノ第五師團司令部是レナリ而シテ維新後ハ破却或

ハ改築シテ舊態ヲ失ヒ依然トシテ存スルモノハ僅カニ天主閣ト内壕トニ過ギズ。天主閣ハ五層ニシテ高サ十七間五尺基礎東西廣島城址



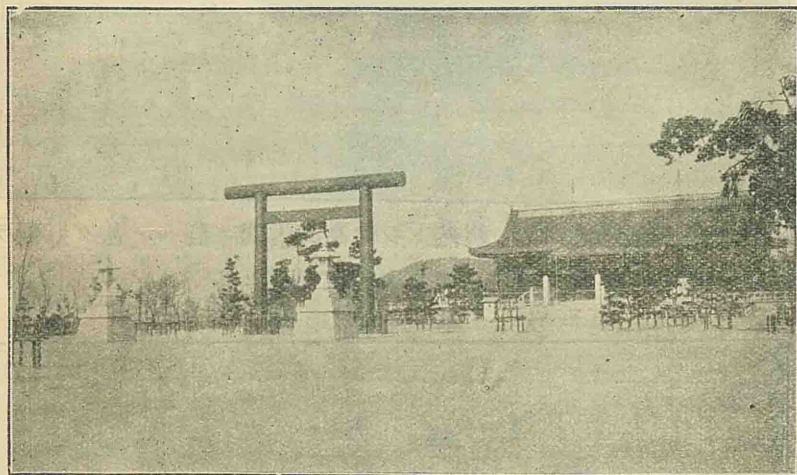
十二間、南北九間アリ、巍然トシテ高ク雲間ニ聳ヘ、甚ダ壯觀ヲ呈ス此城ハ別ニ鯉城ト呼ビ又泰磨城ト稱セリ

大本營跡



大本營跡——舊廣島城内本丸趾ニアリ元、第五師團司令部ナリシガ明治二十七年清國ト干戈ヲ交ユルヤ同年九月十五日、畏クモ明治大帝大森ヲ此地ニ進メサセ給ヒ、同所ヲ行在所ニ充テサセラレ翌年四月二十七日マデ萬機ヲ此所ニ統ヘサセ給ヒシ遺跡ニシテ實ニ千古不磨ノ一大記念ト謂フベシ、今ヤ第五師團司令部ノ管理ニ屬シ、嚴重ナル警護ノ下ニ行宮嚴然當時ノ様ヲ保存シ衆庶ノ拜觀ヲ請フ者常ニ絶エズ

舊 御 便 殿

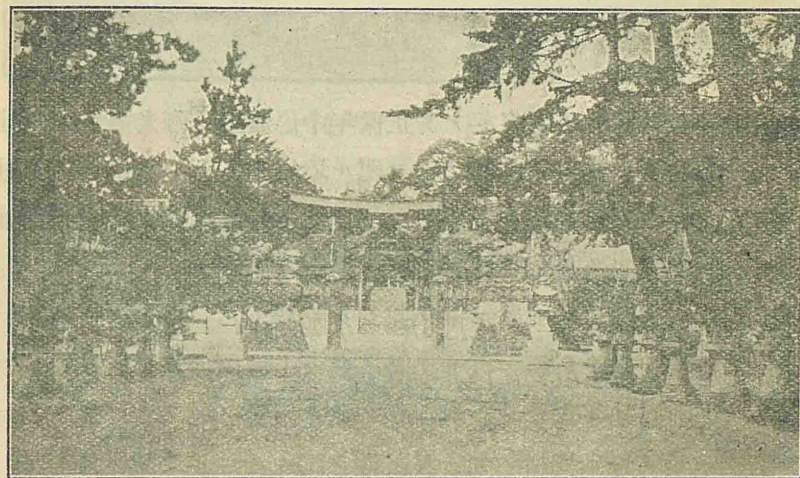


舊御便殿——廣島市ノ東部比治山上ノ北部ニ位シ明治二十七八年戰役ノ際大森ヲ廣島ニ進メ給ヒ第七回臨時帝國議會ヲ召集シ廣島西練兵場内ニ假議事堂ヲ建設セラレ其ノ奥ニ御便殿ノ設ケアリシガ最モ粗造ニシテ棟十四間梁五間ニシテ中央玉座ノアル處ハ僅カニ四十疊ニ過ギザリキ議會閉會ト共ニ建物不用ニ屬シタルヲ以テ此御便殿ハ本市ノ一大紀念トシテ明治三十二年七月廣島市會ノ決議ニヨリ拂下ヲ受ケ後比治山公園ノ新設ト相俟テ同

四十一年工ヲ起シ同四十二年工ヲ竣ヘタリ其ノ構造ハ宮殿型ニシテ最モ壯嚴ヲ極メ棟十八間梁七間ニシテ御便殿ヲ其ノ内ニ移シ以テ永遠不朽ヲ圖レリ庶民ハ洪大無疆ノ聖德ヲ偲ヒ參拜スル者常ニ絶ヘズ

大正元年九月明治天皇御大葬儀ニ付青山葬場殿ニ御使用セラレタルモノノ内第二神門、眞榊、提燈、八咫鏡、黃白旗ヲ同二年三月二十五日東京市ヨリ譲リ受ケ眞榊ハ柵内ニ植ヘ御神門ハ御便殿前ノ廣場ヘ建設シ其ノ他ハ祭日等ニ配列シ一般ニ拜觀セシムルコトトシ一層神嚴ヲ極メリ

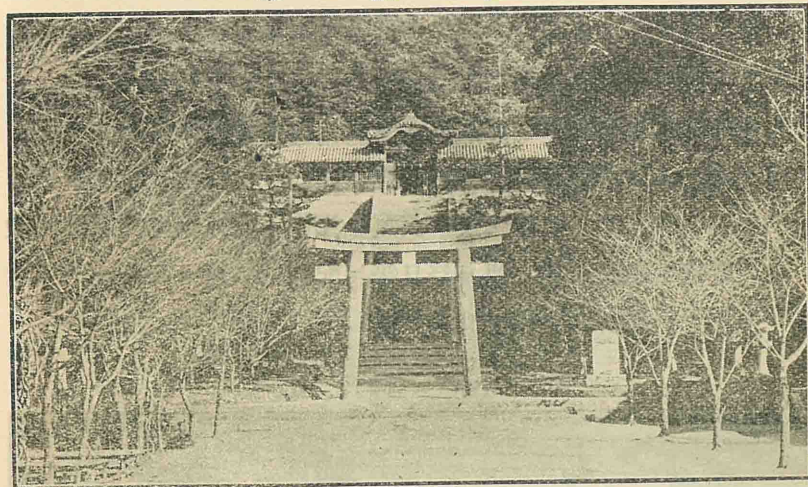
饒 津 神 社



饒津神社——二葉山ノ麓二葉ノ里ノ一隅ニアリ舊廣島藩主淺野家ノ太祖贈從三位彈正少弼淺野長政公夫妻ヲ祀リ敷地約六千六百餘坪ヲ有シ社殿ハ天保六年從四位上少將松平安藝守齊肅公祖先追孝ノ爲メ造營セラレタルモノニシテ結構宏壯ナリ西ハ神田川ノ清流ニ臨ミ背後ハ綠樹鬱蒼タル二葉山ヲ負ヒ頗ル雅致ニ富ム

明治五年二月縣社ニ列セラル

東 照 宮



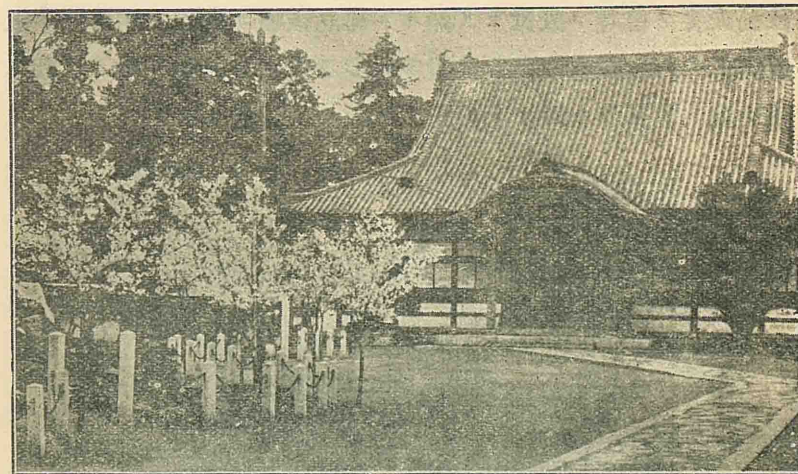
東照宮——尾長山ノ中腹ニアリ正保年中舊藩主淺野光晟公ノ創建セル所ニシテ徳川家康公ノ靈ヲ祀ル境域千五百九十餘坪アリ社殿ハ南方ニ向ヒ石階五十四級アリ往時ハ結構壯麗ヲ極メ祭儀盛大ナリシガ明治四年神体ヲ東京ノ淺野邸ニ移ス

同八年再ビ勸請スト雖モ爾來甚シク荒廢セルヲ以テ近頃有志ニヨリ修築シ稍々舊觀ニ復セリ同境内ハ土地閑靜且ツ老松鬱蒼タルアリ石階ノ下參堂ノ兩側ニ櫻ノ並木及藤ノ棚アリ暮春ノ候ニ至ラバ紫總恰モ纓絡ノ如ク又賞遊ヲ試ムルニ足ランカ

國泰寺——小町白神社ノ東隣ニアリ曹洞宗ニシテ僧惠瓊ノ開基ニ係リ文祿年間朝鮮木ヲ以テ諸堂ヲ建立ス後年三回ノ祝融ニ會ヒ舊時ノ觀ナシト雖モ堂宇壯大ニシテ境内ニ豐國神社アリ豊公遺髮ノ塔及赤穂義士大石良雄ノ室石束氏、及同三男大三郎ノ墓アリ香煙常ニ絶ユルコトナク殊ニ近時市内有志ノ發企ニテ赤穂

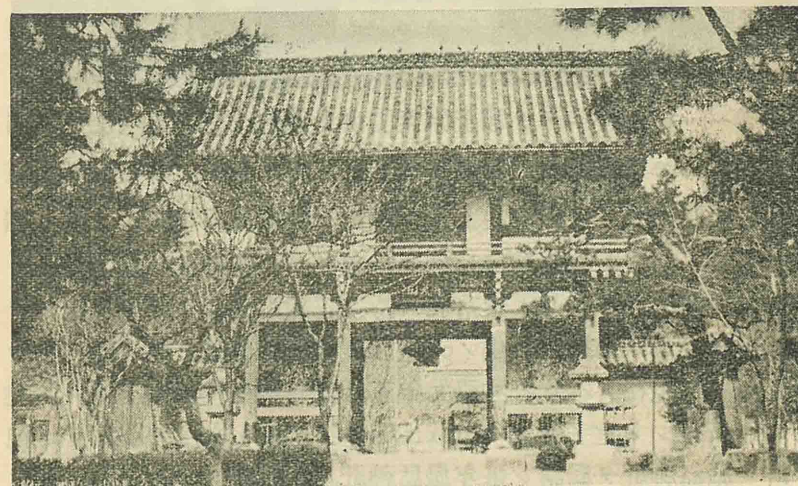
義士追遠塔ノ建設アリ當寺ハ淺野家ノ菩提寺タリ樟樹櫻樹多ク

國 泰 寺 (曹洞宗)



樟樹ハ昔時ヨリ名高ク今猶數百年ヲ經タル老樟ノ鬱蒼タルアリ

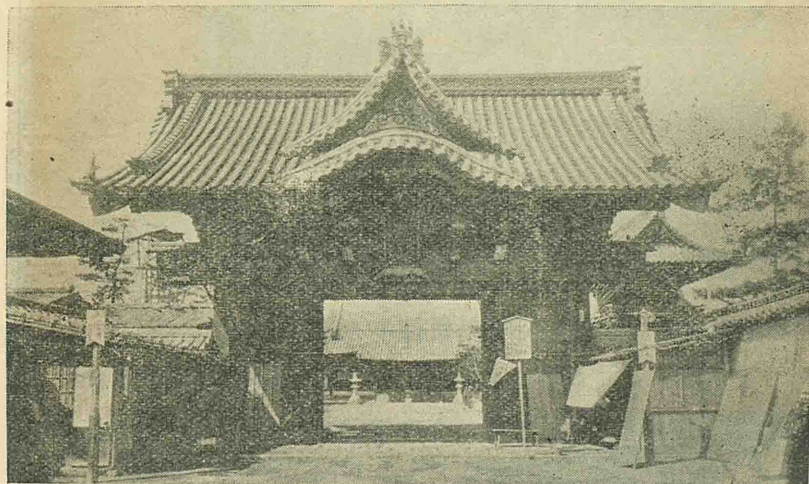
明 星 院 (眞言宗御室派)



明星院——二葉ノ里ノ一隅饒津神社ノ東南ニアリ眞言宗月光山大

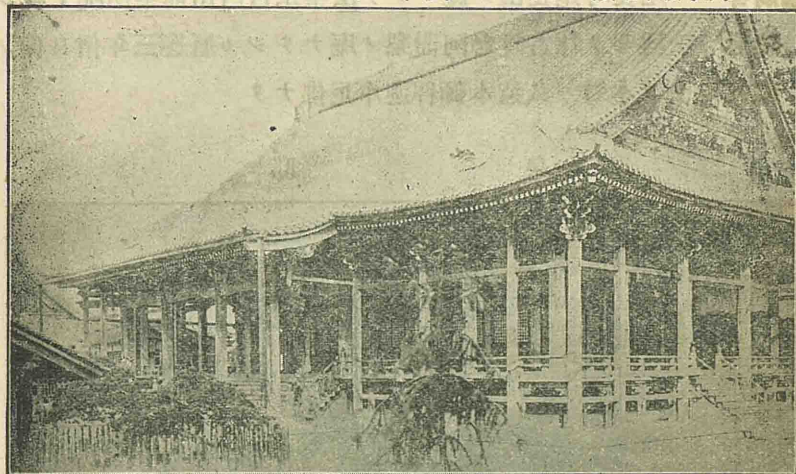
日寺ト號ス天正十七年毛利輝元卿ノ建立ニシテ本尊ハ千手觀音ナリ慶長五年榮鏡法印中興セリ往時此處ニ大伽藍アリテ淺野長政公夫妻ノ位牌ヲ安置セリ然ルニ維新後頓ニ廢頽シ明治三十五年廣島人八木新兵衛自カラ資ヲ投ジテ堂宇ヲ再建シ稍々舊觀ニ復シ現ニ赤穂浪士四十七義士ノ木像ヲモ安置セリ

誓願寺 (淨土宗西山派)



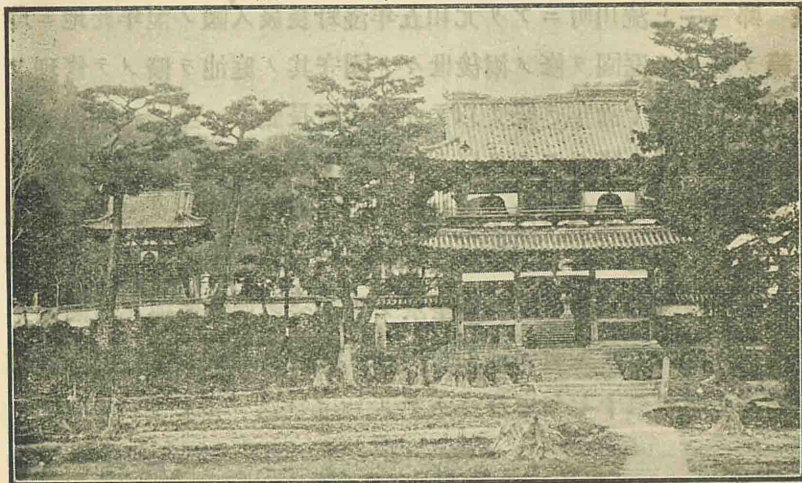
誓願寺——材木町ニアリ淨土宗紫雲山光照院ト稱ス惠空上人ノ開基ナリ抑モ建立當時ノ由緒ヲ尋スルニ天正九年ノ頃毛利輝元京都本山圓福寺ノ住職惠空上人ニ歸依シ當國高田郡吉田ノ邑ニ居住セシム同十七年廣島城建築ノ時扈從シテ當廣島ニ來リ當寺ヲ開創シ翌十八年十月本堂落成ス時ニ正親町天皇ノ勅詔ニ依リテ本山誓願寺ニ傳來スル處ノ天智天皇御宸筆寺號ノ額ヲ賜ハリタリ而シテ現在ノ本堂ハ元祿元年五月當寺第九世辨空上人ノ再建スル所ニシテ堂宇壯大、境域三千餘坪ヲ算シ境内ニ小池アリ池畔ニ嚴島神社ヲ勸請シ毎年嚴島神社、管絃祭當日ハ參拜者多ク殷賑ヲ極ム

本派本願寺廣島別院 (眞宗本願寺派)



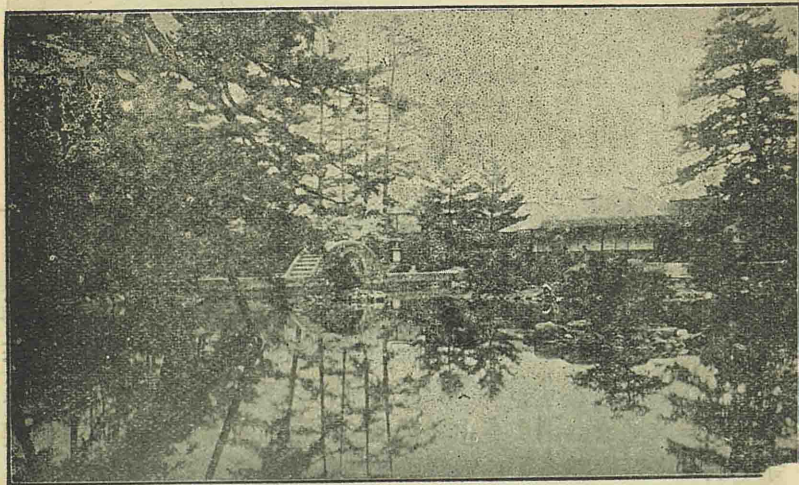
本派本願寺廣島別院——寺町ニアリ市内唯一ノ大伽藍ニシテ長祿三年甲斐國ノ住人僧正信ノ創建ニ係リ當時佛護庵ト稱シ天臺宗ナリシモ後改メテ寺名ヲ佛護寺ト稱シ號ヲ龍原山ト云ヒ明應五年眞宗ニ改メ安藝國小本山ノ別名アリ明治三十五年十一月佛護寺ヲ改メ本派本願寺廣島別院トシ同時ニ堂宇ヲ改築セリ

國前寺 (日蓮宗)



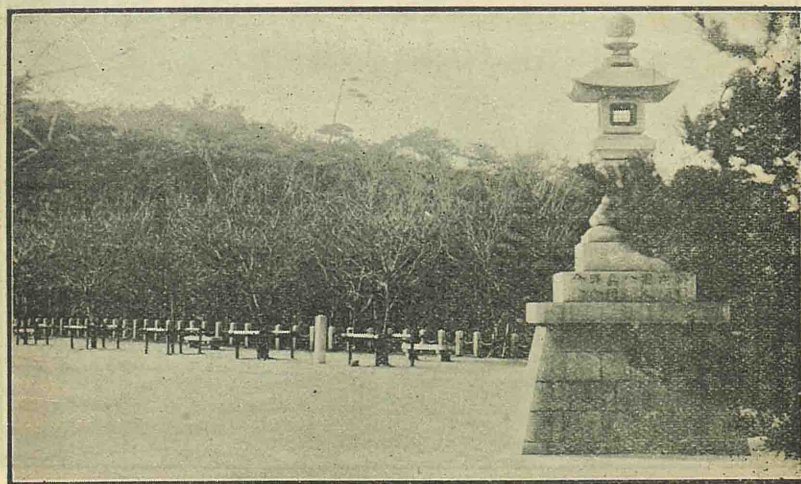
國前寺——尾長町尾長山ノ麓ニアリ法華宗自昌山龍華樹院ト號シ
曉忍寺ト稱セリ往古曉忍阿闍梨ノ庵ナリシガ曆應三年僧日像ノ
開基ニシテ本尊ハ久遠本師釋迦牟尼佛ナリ

泉 邸



泉 邸——上流川町ニアリ元和五年淺野長晟入國ノ翌年此地ニ邸
第ヲ營ミテ庭園ヲ修メ爾後世々ノ國守其ノ庭池ヲ擴メテ修理ヲ
加ヘ二百七十餘年ヲ經テ以テ今ノ淺野長勳侯ニ至レリ園庭ハ支
那西湖ノ景ヲ模シタルヲ以テ縮景園ト號ス。廣サ四丁太田川ヲ
挾ミ斜ニ二葉山向陽山。ト相對シ岸ニ閘門ヲ設ケテ河水ヲ泉池
ニ引ク中ニ池アリ。小島絶壁アリ溪アリ湍アリ自ラ深山ノ景趣
ヲ備フ庭内清風館ハ座シテ全景ヲ望ムベク景致多趣ノ名園タリ
構内ニ淺野家ノ家寶ヲ陳列シ一般ニ觀覽セシムベキ觀古館ノ建
物アリ明治二十七年車駕行幸アリ

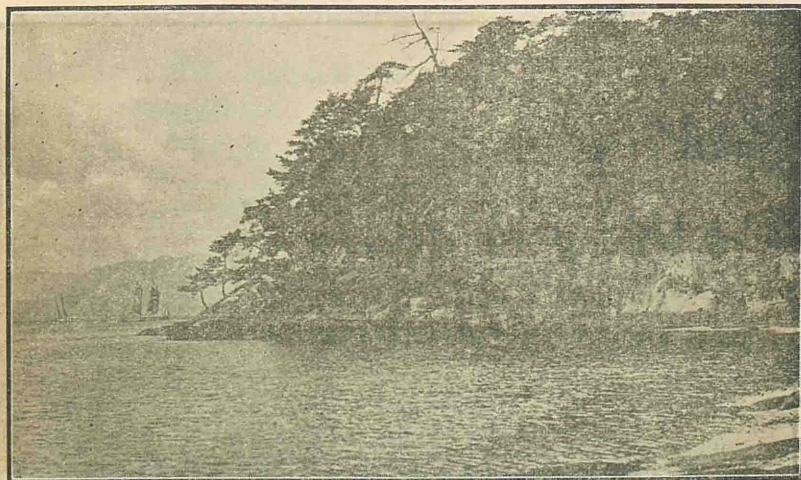
比 治 山 公 園



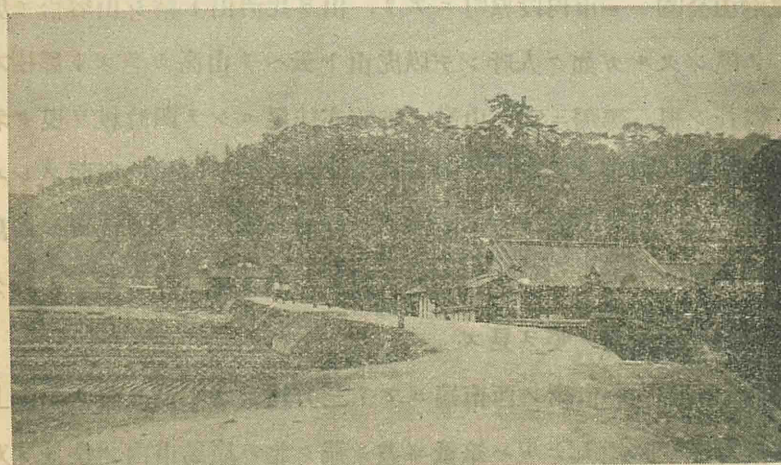
比治山公園——市内段原町ニアリ。山ヲ比治山ト稱シ山容恰モ虎
ノ臥シタルガ如ク人呼ンデ臥虎山ト云ヘリ山高カラズト雖樹木
鬱蒼シ楓。躑躅ニ富ミ山巔ノ眺望亦佳絶ニシテ四時杖ヲ曳ク者
多シ殊ニ山頂ヨリ西面スレバ市街ノ約八分ヲ俯瞰シ南面スレバ
宇品港ヲ眼下ニ集メ更ニ右スレバ江波ノ漁村ヲ望ミ遙カニ廣島
灣ノ風光ヲ賞スベシ往昔老松ノ間ニ白鶴ノ棲メルヲ見シト聞ケ
ド今ハ全ク其ノ姿ヲ見ズ

江波山公園——市街ノ西南端ニアリ三方繞ラスニ海ヲ以テシ山上
望海風景ノ雄大ナルハ筆紙ニ盡シ難ク北ハ廣島市内ノ全景ヲ双
眸ニ集メ東ハ宇品港及比治山ヲ眺メ西ニ己斐・草津・五日市・安
藝ノ嚴島ハ指呼ノ間ニ點綴ス。安藝ノ小富士ノ佳景ヲ望ムガ如
キハ眞ニ天下ノ絶景ト稱スベシ

江波山公園

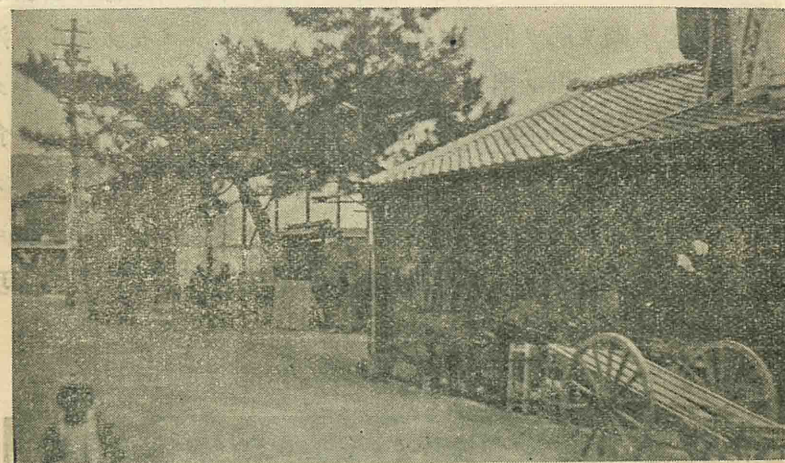


大内越道



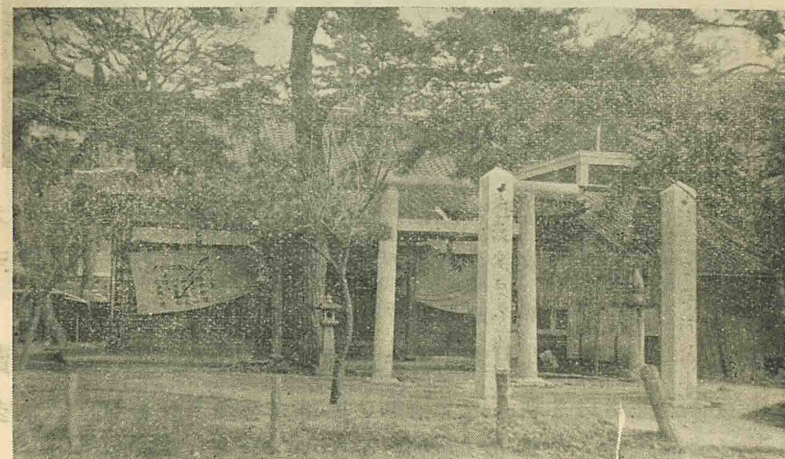
大内越道——本市ヨリ中山・馬木・福田等へ往來スル山路ニシテ昔
府中村ノ城主白井備中ヲ大内義隆ガ攻メシ時此ニ砦ヲ置キ且戰
路トシタルガ故ニ名トス

三本松



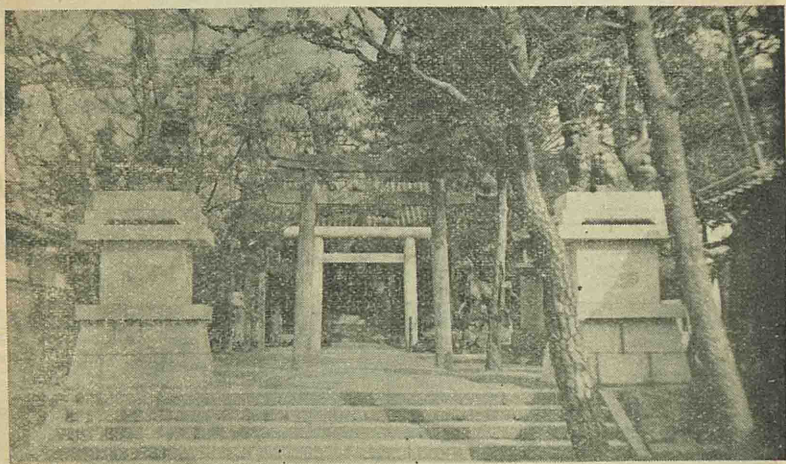
三本松——猿渡橋ノ東尾長町國道筋ノ南側ニアリ豊太閣朝鮮征伐
ノ際多クノ松樹ヲ栽エシモノ後三本ノミ殘リシヲ以テ此ノ名ア
リト傳フ往時藩主ノ參勤交代アルヤ當地留守居ノ諸士此處ニ於
テ送迎セリト

太宰原天満宮



太宰原天満宮——二葉ノ里内ノ東方ニアリ太宰原ノ起源ハ菅公筑紫ニ左遷ノ砌リ船ヲ此處ニ寄セテ憩ハセ給ヒ其ノ後太宰府ヘ遷ラレタルヲ以テ其ノ名アリト且ツ同所ニ當時菅公ノ植エラレタル梅樹アリ長ジテ花開キ實ヲ結ブニ至リ里人其ノ實ヲ採リテ食フニ苦クシテ食フ能ハズ爾後之ヲ拾ハントスルモノナシト其ノ後此ノ實ヲ植栽シテ僅カニ其ノ一本ヲ殘セルガ今社殿ノ背後ニアルモノナリト傳フ。又同所ニ菅公ノ腰掛石ト云フモノアリ現在ノ祠ハ此上ニ建立セラレアリ

奈 免 良 井



奈免良井——白島九軌町ニ六個所アリ傳ヘ云フ此邊ハ海崖ニシテ一面磐石ナリシガ故ニ今ニ井ヲ掘ルニハ岩ヲ切り抜キテ泉ニ至ルト云フ他ノ井ノ如ク無底桶ヲ用フル類ニアラズ

新天地——大正十年九月堀川町ニ活動寫眞常設館劇場、娛樂場賣店等ヲ經營シ以テ新天地ト稱セリ此地タルヤ日夜歡樂ノ人出多ク常ニ殷賑ヲ極ム

新 天 地



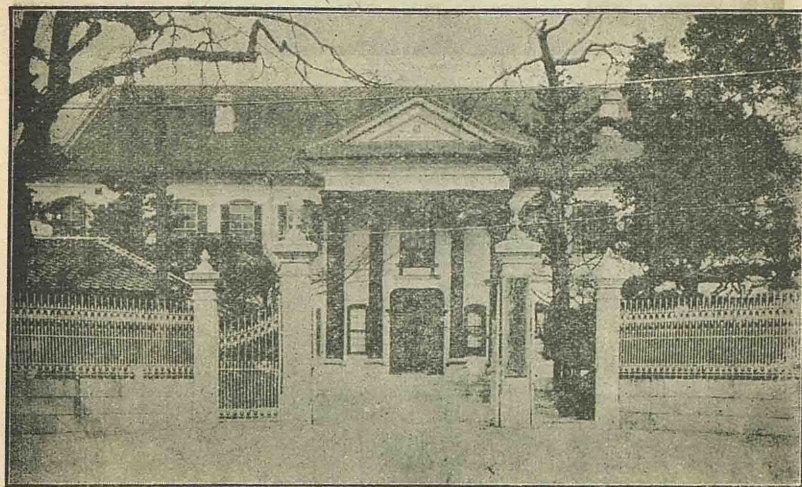
宇 品 山



宇品山——宇品山國有林ハ宇品島ノ大部分ヲ占メ面積二十五ヘクタールニシテ暖帶固有植物ヲ藏スルコト地方稀ニ見ル所ナルノミナラズ老樹巨木鬱々トシテ貴重ナル林相ヲ成セリ從來航行目

標學術老試保護林トシテ禁伐保護ヲ加ヘ來リシガ政府ハ民衆保健ノ増進ヲ圖リ且ツ學究ノ便ニ資セントノ趣旨ヲ以テ大正十五年甫メテ之ヲ公開シ新ニ步道ヲ拓キ或ハベンチ休憩所ヲ設クル等一般ノ散策行樂ニ任ゼリ一度此ノ山ニ來遊センカ瀬戸内海ノ風光一眸ノ裡ニ集リ晝尙暗キ大樟樹林ハ珍草奇木ヲ蔽ヒテ徐ロニ原始林ノ感ヲ生ゼシム其ノ各植物ニ名稱性狀用途ノ標札ヲ附セル蓋シ其ノ用意ノ周到ナルヲ見ル

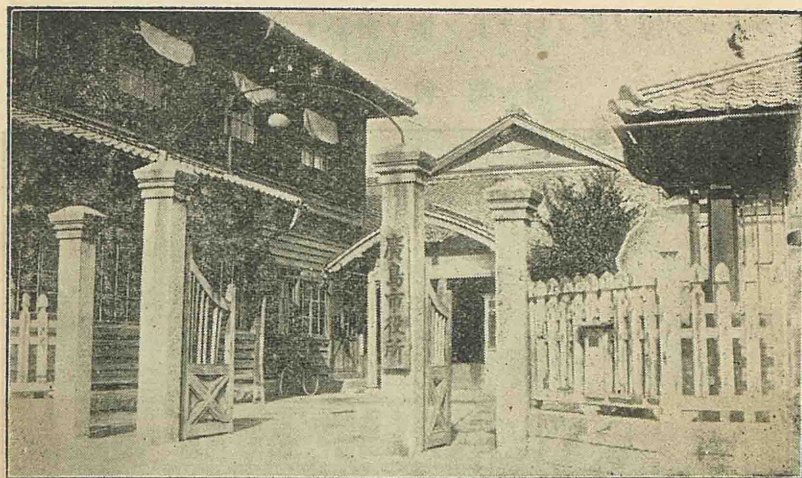
廣 島 縣 廳



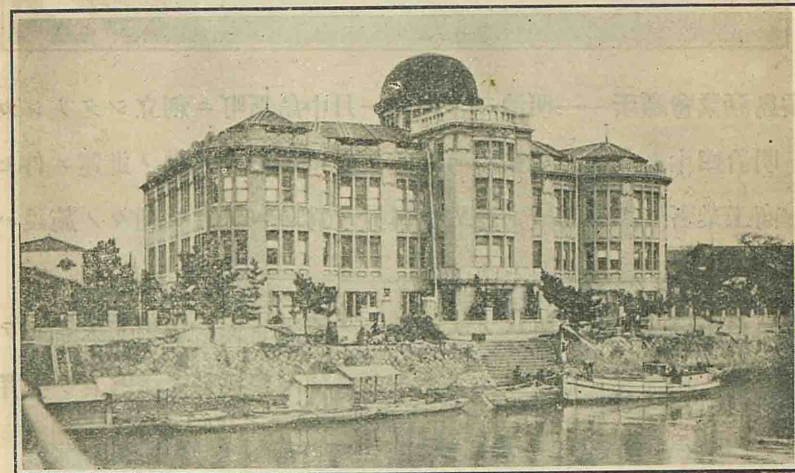
廣島縣廳——明治十一年水主町ニ建築シタルモノニシテ構内廣ク縣會議事堂及武德殿ノ増築アリ廣島縣立病院相隣シ名園與樂園ハ其裏ニ續キ春季最モヨシ

廣島市役所——中島新町ニアリ市會議事堂ト相並ベリ廳舍狹隘ノ爲メ目下國泰寺町ニ宏壯ナル廳舍ヲ新築中ナリ

廣 島 市 役 所



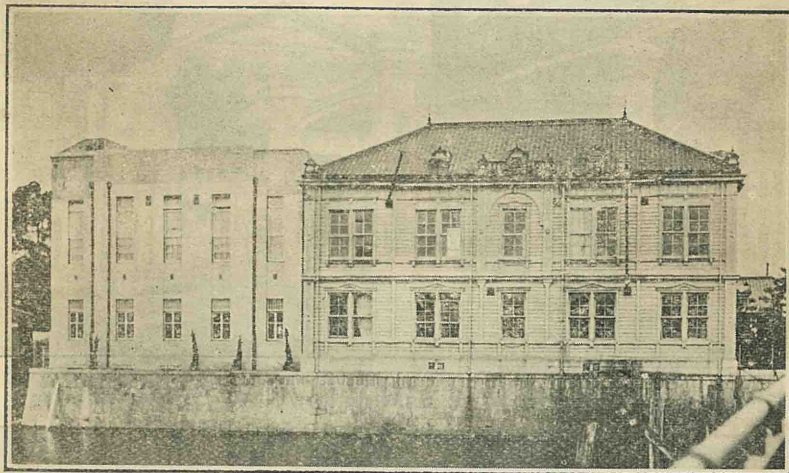
廣島縣立商品陳列所



廣島縣立商品陳列所——元安川相生橋畔(セセツション式)ノ宏壯洋館ハ大正四年五月ニ新築セルモノナリ館内ニ縣下物產ヲ蒐集陳列シ各地物產及外國品ヲモ陳列シテ一般ノ參考觀覽ニ供シ商

品ノ取引斡旋ヲ計リ商工業界ヲ指導シ館内ニ圖書室ヲ設ケ商品
カタログ等ヲ集メ以テ其ノ便ヲ計レリ

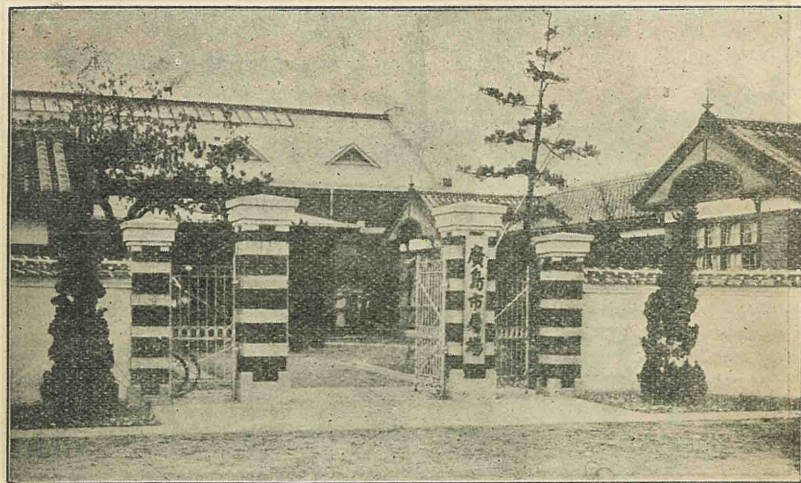
商 業 會 議 所



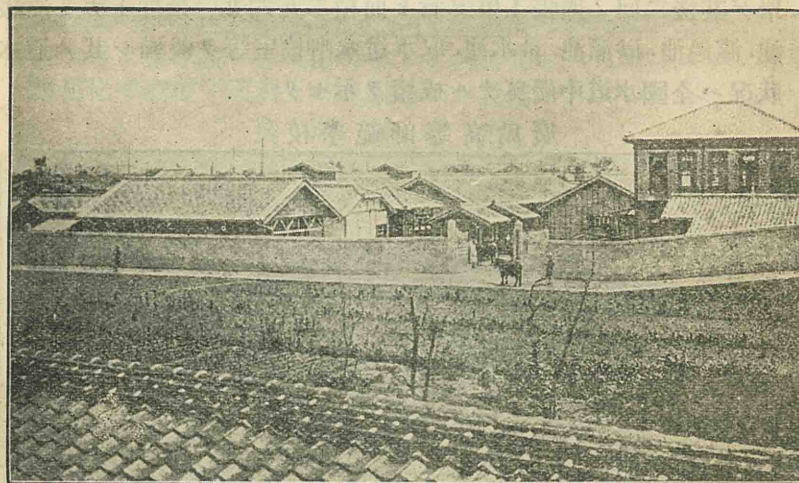
廣島商業會議所——明治二十四年一月中島新町ニ創立シタリシガ
明治四十一年一月猿樂町ニ新築移轉セリ然テ時勢ノ進運ニ件ヒ
商工業者ヲ招導誘掖シ地方實業界ノ爲メニ努力シ種々ノ施設ハ
將來大ナル發展ヲ見ルナラン

廣島市屠場——福島町ニアリ廣島市ノ經營ニ係リ規模宏大ニシテ
大正三年煉瓦石造建築物トナシ諸設備ハ獨逸製機械器具ヲ採用
シタル最新式全國唯一ノ屠場タリ

廣 島 市 屠 場

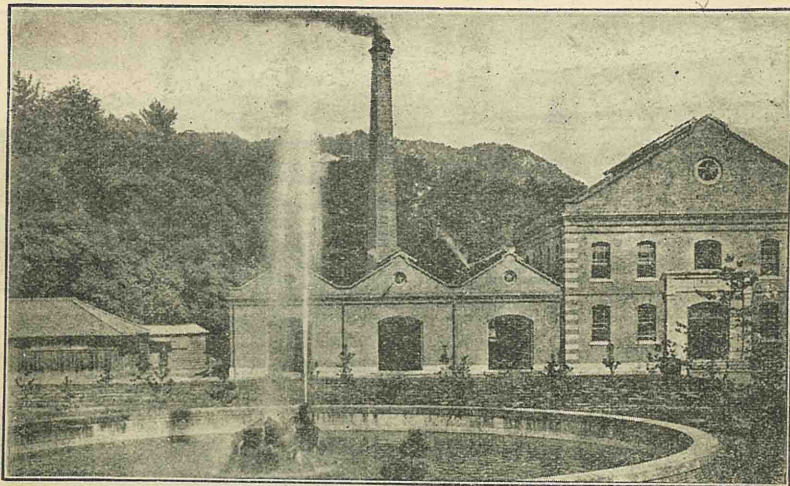


廣島市常設家畜市場



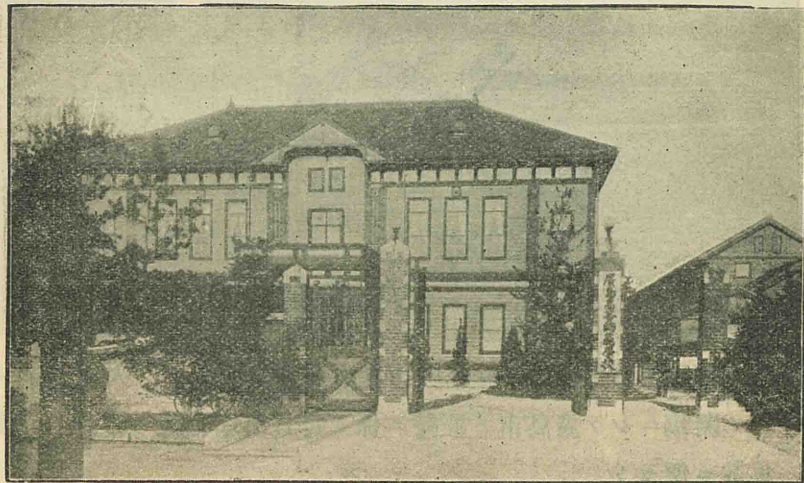
廣島市常設家畜市場——福島町西堤防山手河畔ニアリ大正三年一
月ノ開場ニシテ廣島市ノ經營ニ係リ毎日市場ヲ開キ家畜ノ改良
集散ニ便セリ

上水道水源地



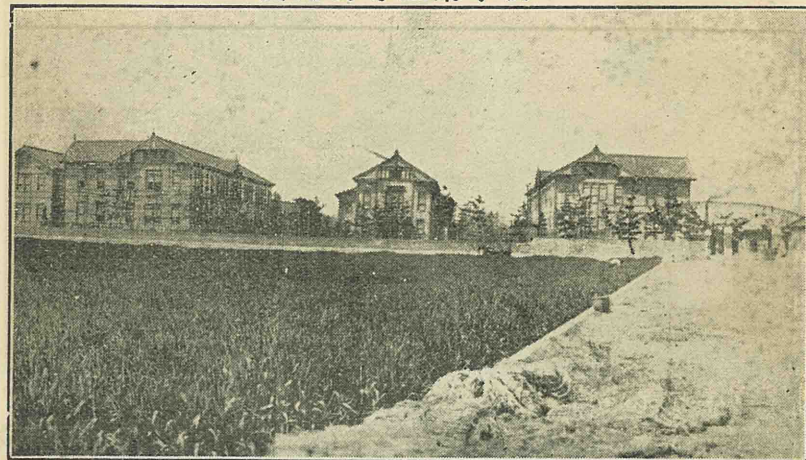
上水道水源地——安藝郡牛田村ニアリ明治三十一年八月通水式ヲ
舉ゲ其後二回ノ擴張工事ヲ行ヒ面積二九六九〇余坪トナリ沈澱
池・濾過池・砂溜池・量水池・取水送水唧筒室等ヲ設備シ其ノ通水
狀況ハ全國水道中優良ナル成績ヲ示セリ

廣島高等師範學校



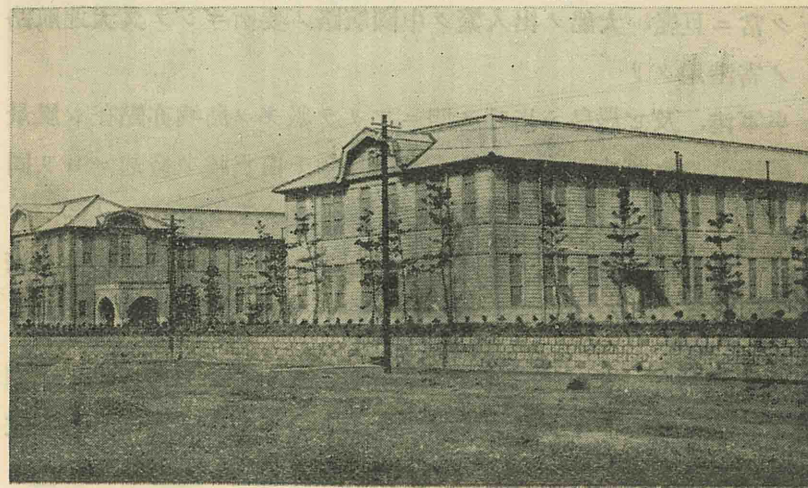
廣島高等師範學校——千田町ニアリ明治三十五年ノ開校ニシテ文
科・理科・教育科ニ分ツ構内ニ附屬中學校・同小學校・圖書館アリ
又同校南隣ニ博物館ヲ併置セリ

廣島高等工業學校



廣島高等工業學校——千田町ニアリ大正九年一月開校ニシテ電氣
應用化學機械ノ三科ニシテ嶄新ナル設備ヲナス

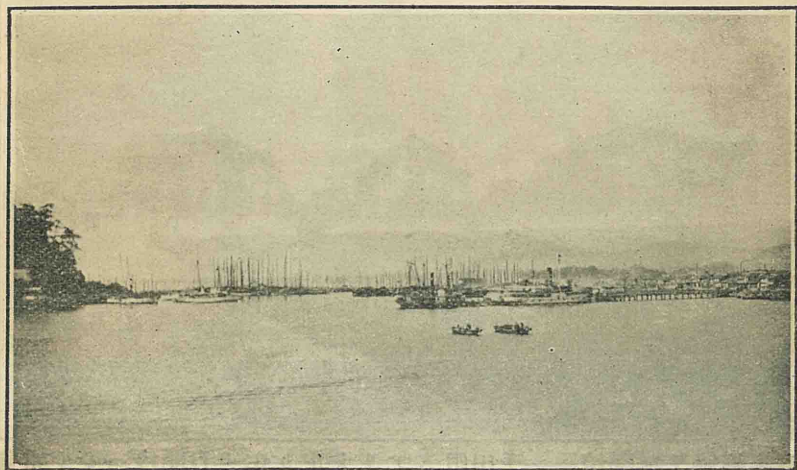
廣島高等學校



広島高等学校——皆實町ニアリテ大正十三年十二月創立ニシテ文

理科科ニ分チ規模頗ル大ナリ

宇品港



宇品港——本市南端ニアリ港内水深ク且暴風波ノ害ヲ受クル事ナク常ニ巨艦、大船ノ出入繁ク中國航路ノ要衝ニシテ又大連航路ノ寄港地タリ

吳軍港、及ビ嚴島ハ指呼ノ間ニアリテ數多ノ島嶼亦點在シ風景絶佳ナリ此ノ地タルヤ明治十七年縣令千田貞曉ノ發起ニヨリ同二十二年十一月六二八、一二一坪ヲ埋立竣工シタルモノニシテ明治二十七八年、三十三年、三十七八年、大正三年等ノ戰亂ニ際シ軍隊糧食ノ輸送港トシテ大ナル利便ヲ與ヘタル良港ナリ

千田男爵銅像——宇品町ニアリ縣令千田貞曉宇品築港ニ力ヲ盡シ以テ竣工ナリタルガ故ニ此レヲ記念スベク大正四年十一月建設セシモノナリ

千田男爵銅像

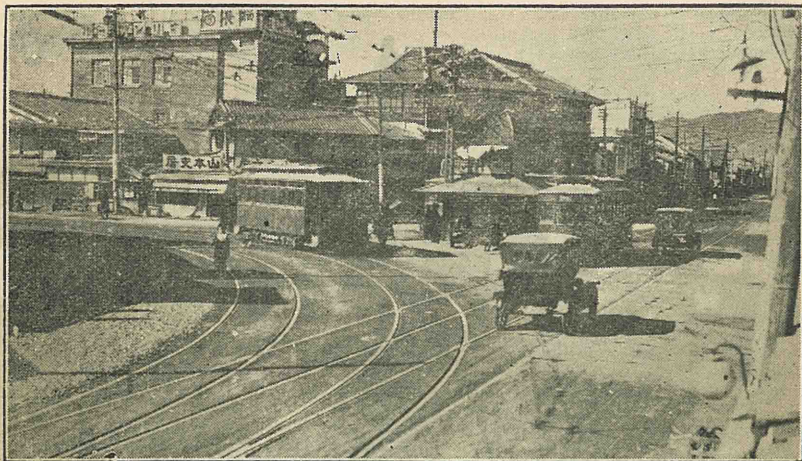


廣島驛



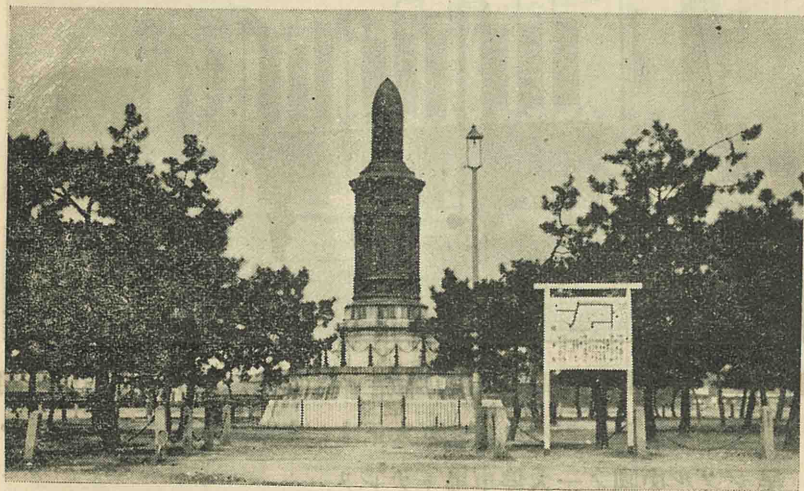
廣島驛——本市ノ東北端大須賀町ニアリ明治二十七年七月十日開通建築シ粗造ノモノナリシガ大正十一年改築シ内外共ニ美觀ヲ呈シタル中國ノ一大停車場トナレリ

紙屋町電車交叉點附近



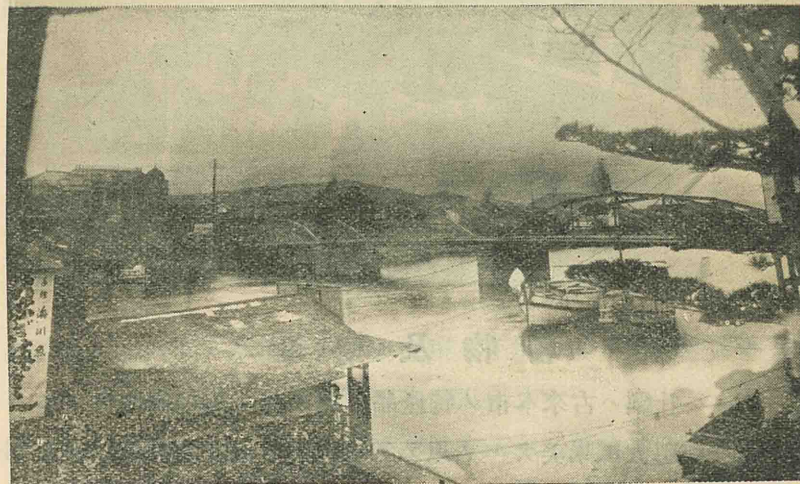
紙屋町電車交叉點附近——本市ノ中央部ニ位シ市内ノ電車ハ此地
ヲ基點トシ東ハ廣島驛東廣島驛西ハ横川驛及已斐驛南ハ宇品港ニ
通ズル交通ノ要點タリ常ニ自動車及人馬ノ往復多ク般賑ヲ極ム

第一軍戦死者記念碑



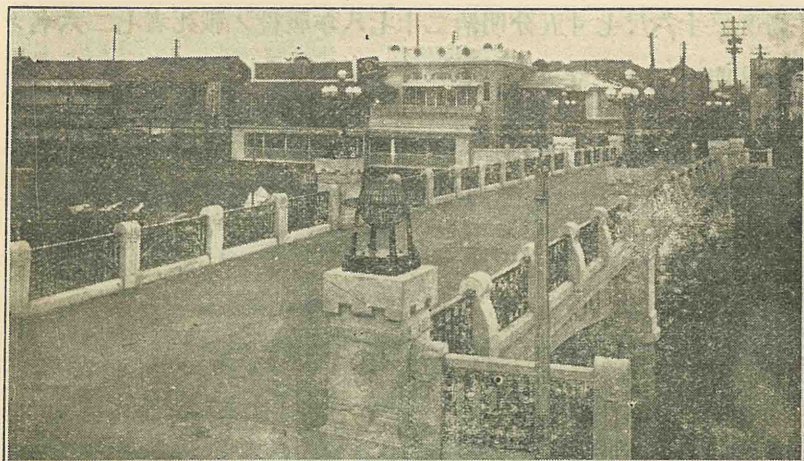
第一軍戦死者記念碑——西練兵場ノ一隅ニアリ碑身ハ砲彈ニ擬シ
高サ三十六尺七寸五分明治二十七八年戦役ノ戦死者七二六名ノ
爲メ明治三十三年ニ建設セルモノナリ

本川橋



本川橋——中島本町ヨリ塚本町ニ架セルモノニシテ天正年間猫屋
九郎右衛門(加藤兼鎮)之ヲ架設シタルヲ以テ猫屋橋ト稱セリ明
治三十年長サ四十間幅四間ノ鐵橋ニ改築ス同橋ノ下流東岸堤防
上ニハ櫻樹ヲ植エ花時夜間ニハ提燈ヲ吊ス俗ニ東本川ノ櫻ト稱
シテ當市ニ於ケル一美觀タリ

元安橋——市内細工町ヨリ中島本町ニ架設セル鐵橋ニシテ工費七
二、〇〇〇圓ヲ要シ体裁優美堅牢ナリ附近一体ハ市ノ中央ニ位
シ商賣軒ヲ列ネ車馬絡繹織ルガ如ク昔時ヨリ此地ヲ里程元標ト
セリ



名 物 及 物 産

牡蠣——牡蠣ハ古來本市ノ特産品ニシテ其ノ品種他地方ノモノニ比シ肉肥大風味美ナルヲ以テ名アリ。本市江波町及ビ本市ニ隣接セル安藝郡仁保村、佐伯郡草津町沖ニ養殖シ且ツ同地住民ハ冬季舟ヲ遠ク大阪及ビ下關方面ニ舩シテ種々牡蠣料理ヲ營業セルヲ以テ牡蠣船ノ名聲高シ尙牡蠣罐詰牡蠣エキストシテ廣ク全國ニ移出セリ本市一ケ年ノ産額三〇、八〇〇圓ヲ算セリ

海苔——海苔モ亦牡蠣ト同ジク江波町、安藝郡仁保村沖ニ盛ニ養殖シ寒氣凜烈ノ候ニ採取シ之ヲ漉海苔トナシテ九州、大阪、京都其他各地方ニ移出ス其ノ産額一ケ年四〇、五七六圓ヲ超ヘ名聲アリ

柿——生柿ハ主トシテ市ノ北部ナル安佐郡地方ニ於テ産出セルモノヲ本市ニテ乾柿ト爲シ東京、大阪、九州其他廣ク全國ニ移出セラル形美濃柿ニ似テ稍太ク味最モ美ナリ近來のし柿、柿羊羹等

ヲ製ス

鮎——鮎ハ北郡部ヨリ流レテ本市ヲ圍繞セル太田川ニ棲息セルモノヲ漁獲スルモノニシテ生魚ノ外乾鮎小判漬、糟漬鮎うるか等トナシ各地ニ移出セリ

廣島菜——廣島菜ハ本市特有ノ農産物ニシテ實ニ三百年來ノ歴史ヲ有シ其名天下ニ洽ク京菜又ハ平莖ト云フ蓋シ其ノ初メ京都ヨリ到來シタルノ故ヲ以テ京菜ト稱シ莖ノ扁平ナルヲ以テ一名平莖ト名ケシモノナルベシ廣島ニ於テハ主トシテ京菜ト謂ヒ京都ニテハ之ヲ廣島菜ト唱フ其ノ特長ハ葉柔軟ニシテ纖維少ク殊ニ漬物トシテ香氣最モ嗜好ニ適シ永ク貯藏ニ耐ヘ風味ヲ損セザルニ因ルナリ

白魚——白魚ハ本市ヲ洗フ太田川ノ下流ニ於テ漁獲セラル、モノニシテ生及罐詰トシテ各地ニ移出セラル

罐詰——本市ニ於ケル罐詰ハ明治十三年ノ製造ヲ初メトシ爾來星霜ヲ重スルニ從ヒ幾多ノ改良ヲ加ヘ遂ニ優良ナル製品ヲ作り各地ニ輪移出スルニ至レリ其種類ハ牛肉ヲ主トシ蔬菜類魚貝及海苔、果實等ニシテ一ケ年ノ産額約三、六〇〇、〇〇〇圓ニ達ス

足袋——足袋モ亦古キ歴史ヲ有スレドモ明治二十年頃ヨリ漸ク發達ノ曙光ヲ顯シ逐年改良益々發達シ莫大小足袋、護謨底、信州底、等ノ地下足袋ノ製造ヲ見ルニ至リ製品ハ各地ニ輸出セラレツ、アリテ一ケ年ノ産額六八八、〇〇〇圓余ヲ示セリ

染手拭——形染ハ往昔ヨリ盛ニ行ハレ明治初年箱轆ヲ發明セシ以來一時ニ多數ノ生産ヲナシ得ルニ至リ且ツ染模様鮮明トナリシヲ以テ廣島染ノ名頓ニ昇リ全國ニ移出スルニ至レリ一ケ年ノ産額六二三、〇〇〇圓ニ達セリ

晒木綿及染地類——晒木綿及染地類ハ文政年間本市新川場町大和屋文五郎ナルモノ木綿織物業ヲ開始シ漸次隆盛ニ趣キ現今ニ於テハ一ケ年ノ産額六五七、〇〇〇圓ニシテ山口、島根ノ近縣ニ移出ス

簞 笥——簞笥ハ寛永五年二宮太郎右衛門ト云フ者今ノ安佐郡福木村ヨリ來リ那波屋彦右衛門ト改名シ本業ヲ開始セリ明治維新前後ハ前桐二重簞笥ヲ以テ最上等品トセシガ漸次黒柿、桑、樺或ハ唐木等ヲ混用シテ上等品ノ製作ヲ見ルニ至レリ斯クシテ明治四十一年本市主催ノ製產品々評會及明治四十三年名古屋市主催ノ共進會ニ出品以來一層其ノ名聲ヲ高メ一ケ年ノ産額六八七、〇〇〇圓ニ達セリ

傘——傘ハ本市ニ於ケル重要物産ノ一ニシテ其ノ起源ヲ探グルニ舊藩主淺野公紀州ヨリ當地ニ移リシ際紀伊國若山本町（今ノ和歌山市）ニ居住セル傘屋庄右衛門及市郎右衛門ナル者同公ニ隨從シテ當地ニ來リ御傘ノ御用ヲ勤メ代々藩ノ用命ヲ蒙リ居レリ之レ當地ニ於ケル傘製造ノ根源ナリ其後二百餘年間ハ微々トシテ振ハザリシガ天保年間ニ至リ時ノ藩主大ニ獎勵ニ努メ其ノ製作品ヲ買ヒ取リテ之ヲ江戸ニ回送シテ大ニ好評ヲ博シ漸次盛大ニ趣キ降テ慶應年間ニ至リ着色其他ニ改良ヲ加ヘ大ニ販路ヲ擴張セリ然ルニ明治二十年頃ヨリ同業者相謀リテ組合ヲ組織シ粗製濫造ノ弊ヲ矯正シ輸入品ヲ防遏シ得ルニ至リ大ニ廣島傘ノ名聲ヲ揚ゲタリ且ツ之ガ職工ノ技倆ニ至リテハ他府縣ニ秀テタルヲ以テ彼ノ有名ナル岐阜及愛媛縣ノ如キモ本市ヨリ職工ヲ雇傭シテ傳授ヲ受ケ以テ今日ノ盛大ヲ來セルモノナリト云フ大正十四年ニ於ケル一ケ年ノ生産額ハ四五〇、〇〇〇圓餘ニシテ其販

路ハ大阪、福岡、朝鮮等ナリ

縫 針——縫針ハ本市特產品ノ一ニシテ之ガ元祖トモ稱スベキハ本市中島新町朝見國造ノ祖先針元屋初五郎ナルモノ寛永元年長崎ニテ製針業習得歸廣ノ上製造ニ着手セシヲ本市製針業ノ嚆矢トス爾後幾星霜ヲ經テ製針業者漸次増加シ殊ニ維新以來一層販路ヲ擴張シ東京大阪京都地方ヲ主トシ全國ニ涉リテ名聲ヲ博シ盛況ヲ呈スルニ至ル而シテ明治二十年頃「メリケン」針ノ輸入ヲ見ルニ至リ手工製造ハ機械製造ニ轉ジ品質「メリケン」針ニ比肩シタレ共僅カニ内地ノ供給ニ止マリシガ歐洲戰亂ニ會ヒ斯業愈發達シ朝鮮、支那及南洋ニ輸出シ一進一退大正十四年ノ産額五六五、〇〇〇圓ヲ示セリ

建 具——本市ニ於ケル建具ハ其ノ創業甚ダ古ク數百年前ニシテ明治維新前マデハ交通機關不便ノ爲メ販路狹ク市内及近郡ニ限ラレシモ明治初年以來交通ノ便開クルニ隨ヒ次第ニ販路ヲ擴張シ現今ニ於テハ愛媛、岡山、山口等ノ各縣ニ涉リ其産額一ケ年四二五、〇〇〇圓餘ニ達セリ

紡績綿糸——紡績綿糸ノ製造ハ明治二十九年初メテ蟹屋町ニ中國紡績株式會社ト稱シ後大阪合同紡績株式會社ニ讓渡シ現ニ盛ニ經營シツ、アリ一ケ年ノ産額七、一八二五、三圓ニシテ本市生産品中最モ多額ヲ占ム而シテ本製品ハ悉ク本店大阪ニ送附ス

人造絹糸——本品ハ大正十年本市千田町ニ工場ヲ設ケ製造ヲ初メ漸次隆盛ニ向ヒ一ケ年産額五、一三八、〇〇〇圓ニシテ本品モ亦本店神戸ニ送付ス

護謄製品——本品ハ大正五年本市南竹屋町ニ中國ゴム株式會社工場ヲ設置シタルヲ始メトシ爾來益々隆盛ニ向ヒ一ケ年ノ産額五

六七、〇〇〇圓ニシテ販路ハ朝鮮、臺灣、四國、九州、島根等ナリ
 製綿——本市及本市附近ニ古來棉作地トシテ有名ナリ隨テ製綿
 ヲ業トセル者續出シ文政年間廣瀬町奥久兵衛及猿猴橋町坪田鶴
 藏ノ祖先本業ヲ開始セリト云フ尙本業ニ就テ沿革ノ概略ヲ記シ
 テ參考ニ資セン
 本業ニ關スル歴史ヲ探ルニ元和年間淺野公入城以來綿ヲ以テ國
 產タラシメント欲シ寛延年間民設綿改所ヲ藩ノ保護ニ歸シ之ヲ
 本市銀山町ニ置キ綿會所ト稱シ（綿座改所又ハ綿改座トモ云ヘ
 リ）藝備兩國ノ產綿ヲ審査精撰シ販賣上大ニ利便ヲ與ヘ其後同
 所ニ於テ繰綿業ヲ創メ細民ノ婦女子ニ授産ノ道ヲ與ヘ大ニ公益
 ニ資セリ斯クテ綿會所ノ審査ハ嚴正ナルガ故ニ品位ハ一層昂上
 シ賣買上ノ信用亦年毎ニ厚ク販路モ頓ニ開ケ移出隆盛トナリ安
 藝白封ノ名遠近ニ傳ハリ遂ニ有名ナル一物產トナレリ（審査濟
 ノ繰綿ハ白紙ヲ以テ封ヲ爲ス依テ白封ノ名起ル）尙同會所ハ單
 ニ綿ノ審査ノミニ止ラズ農商間ニ金融ノ道ヲ開カント欲シ綿預
 券ヲ發行シ、荷主ハ現品ヲ會所ニ預ケ預券ヲ以テ賣買スルノ便
 ヲ得爾來金錢ノ貸借ハ此預券ニ依ルモノ頗ル多ク大ニ金融ノ流
 通ヲ助ケタリ明治五年廢藩置縣ニ際シ一旦閉鎖セントスルノ悲
 運ニ逢着セシモ當業者間ニ於テ感ズル所アリテカ之ヲ民有ニ移
 シ爾後益々事業ヲ擴張シタリ然ルニ明治三十六年八月ニ至リ當
 時ノ米綿取引所ヲ株式組織ニ變更ト同時ニ株式會社廣島米取引
 所ト改稱シ爾來綿ノ取引ヲ廢スルニ至レリ茲ニ於テ其ノ取引機
 關ハ中絶セリト雖民間ニ於テ直接取引セル數ハ實ニ夥シ今ヤ關
 西ニ於テ其ノ名ヲ博メ產額ノ如キモ約二、五〇〇、〇〇〇圓ニシ
 ヲ販路ハ四國、山口、縣下等ナリ尙之ガ精撰ニ付テハ古ヨリ明治

十八九年頃マデハ打綿ハ專ラ弓打ナリシガ同二十年頃ヨリ箱機
 械ニ變更シ同三十八年頃ヨリ更ニ梳綿機ヲ應用スルニ至レリ
 洋紙——本市ニ於ケル洋紙ノ製造ハ大正六年吉島町ニ中國製紙
 株式會社ヲ設置シテ製造ニ着手シ漸次隆盛ニ向ヒツ、アリ現今
 ニ於テハ一ケ年ノ產額一、二〇〇、〇〇〇圓其販路ハ東京、大阪及
 縣下トス
 菓子——本市ニ於ケル菓子製造ハ塚本町（家號ニ文字屋）大田
 源右衛門ノ祖先ニ文字屋源右衛門ナルモノ元和五年（今ヨリ約
 三百年）前舊藩主淺野公紀州ヨリ入城ノ際隨從シ來リ横町ニ居
 住シ專ラ御用菓子ヲ製造セシヲ嚆矢トス爾來塚本町ニ菊屋庄右
 衛門京橋町ニ平芳屋庄助堀川町ニ虎屋傳三郎ナルモノ製造ヲ開
 始セシ由ナルモ今ハ虎屋ヲ除クノ外ハ其跡ヲ見ズ斯クテ維新前
 迄ハ本市ニ於ケル製造家ハ僅カニ十五六戸ナリシモ需要者ノ増
 加ニ連レ漸次同業者ノ數ヲ増シ現今ハ三百戸ニ及ビ盛ニ營業ヲ
 ナシ前途頗ル有望ナリ而シテ維新前頃迄ハ燒物類ノ製造盛ニシ
 テ之ニ次グモノハ砂糖物、蒸物、羊羹ノ類ナリシガ維新後ニ至リ
 更ニ乾菓子、押物（落雁）、生菓子、麵包、洋菓子類花霞及落花生菓
 子等ノ製造ヲ見ルニ至レリ
 燐寸——本市ニ於ケル燐寸製造業ノ鼻祖トモ稱スベキハ本市細
 工町高坂萬兵衛ナリトス同氏ハ明治初年頃ヨリ西洋品輸入ノ數
 漸次増加セルヲ憂ヒ燐寸ノ如キハ必須ノ日用品ナレバ輸入防止
 ト一面一大營利事業ナラント着眼シ之ガ製造ヲ企圖シ種々研究
 ヲナシ稍其ノ製法ノ緒ヲ得テ三名ノ同志ト組合組織ニテ本市船
 入村ニ快燧社ト稱スル工場ヲ設置開業セリ之レ實ニ明治十三年
 ニシテ本市ニ於ケル燐寸製造業ノ嚆矢トス然シテ幾多ノ困難ニ

遭遇シタレ共佐伯郡吉和村ニ燐寸軸木製造所ヲ設ケ明治三十九年二月ニハ一箇人ニシテ本市段原村ニ樂全堂ト稱スル工場ヲ設ケ燐寸製造業ヲ再興シ專ラ硫黃燐寸ノ製造ニ從事シ主トシテ印度地方ニ輸出ヲ計リ歐洲産ニ比肩スルノ名聲ヲ得タリ同氏ニ亞ギ三川町ニ合資廣島油明會社觀音村ニ廣島觀榮合資會社起リタリシガ遂ニ合資廣島明油會社ヲ山陽燐寸株式會社ト變更シテ現ニ三川町ニ營業シツ、アリーク年ノ産額一二五、〇〇〇圓餘ニシテ專ラ神戸ニ移出セリ

清 酒——本市ニ於ケル酒造家ハ往昔三原屋海老屋室屋等代々藩ノ御用ヲ勤メ居リシモ今ハ其ノ迹ヲ絶テリ而シテ現在ノ酒造家中其ノ創業ノ古キハ京橋町平野屋事松井亮吉ニシテ之ガ祖先ノ創業ハ寛永十一年同町繩屋事保田八十吉ハ元祿十年ノ創業ナリト之ニ依リテ考フルニ本業創始時代ハ少クトモ今ヲ去ルコト三百年前ニアリシコトヲ証スルニ足ルベク此ノ間ノ盛衰消長ヲ知ラントスルハ頗ル困難ナリト雖明治維新前迄ハ凶年ニ遭遇シ米價暴騰セシ場合ハ藩主ハ所謂御藏米ヲ供給シ酒造家ヲ援助セラル、ト一方廣島城下ニハ他藩ハ素ヨリ郡部ヨリモ清酒ノ移入ヲ嚴禁シ優等酒ニ對シテハ藩ノ御用ヲ命セラレ藩主自ラ酒銘ヲ授ケラル、等酒造ノ獎勵最モ盛ナリシト謂ヘリ斯クテ明治維新ニ於テ酒造家ノ數ヲ増シ且ツ最モ盛ナリシ時ハ釀造戸數四十戸ヲ有シ當時ニアリテハ現今縣下ニ其名聲々タル賀茂郡地方ノ釀造酒ニ優リシコト數等ナリシト然ルニ明治維新後ニ至リテハ主トシテ兵庫縣灘酒ヲ好ムノ傾向アリシ爲メ之ガ改良ニ意ヲ注ギ種々合議ノ上明治二十一年頃岩崎永助（現在ノ先代）保田芳太郎ノ兩人兵庫縣ニ赴キ灘地方ノ各酒造家ヲ歴訪シテ實地ヲ見聞

シ其後灘ヨリ杜氏ヲ招聘シ容器々具等ニ至ルマテ杜氏ノ言ニ從ヒ新調シ當時中島本町岩崎永助ノ酒造場ヲ試驗場ニ充テ盛ニ試驗ヲナシタルモ風土水質等ノ異ナル廣島市ニ於テ灘釀造法ヲ其ノ儘採テ應用シタル拙考ハ何等得ル所ナカリキ然レドモ一回二回ノ失敗ハ反テ成功ノ素因トナリ其後改良ニ考案ヲ重ネ長足ノ進歩ヲナスニ至レリ一方賀茂郡ノ如キハ本市ニ於ケル試驗ノ失敗ニ鑑ミル所アリテ是亦其後種々ノ考案ヲナシ改良ノ實ヲ舉ゲ杜氏ノ産出地トシテ縣下ニ雄飛スルニ至レリ翻テ我廣島市ニ於テハ今ヤ賀茂郡地方其他ト相俟テ年々相繼グ品評會共進會等ニ於テ賞牌褒狀等ヲ授與セラレ殊ニ明治四十二年ノ全國酒類品評會ニ於テハ全國中第一位ノ優等成績ヲ舉ケ其ノ名聲ハ灘酒ヲ壓セントスルノ盛況ヲ呈シ特ニ明治三十一年廣島酒造組合ノ設立ヲ見ルヤ一層其ノ面目ヲ革ノ將來益々有望ノ地位ニアリーク年ノ産額七五七、〇〇〇圓餘ニシテ東京及縣下ニ移出ス

洋 服——本市ニ於ケル本業ノ元祖ヲ明治五年ノ創業ヲ有スル本市大手町二丁目津村良平ニシテ明治五年前ハ專ラ和服仕立ヲナシ居リシモ時勢ノ變遷ニ連レ洋服裁縫ヲ思ヒ立チ京阪地方ヨリ洋服ヲ購入之ヲ手本トシテ種々研究ノ結果同年十數着ヲ試製セシモ其拙劣ナコルト今ヨリ考フレバ殆ンド兒戲ニ類スルノ感アリ同年本市ニ廣島鎮臺ノ設置セラル、ニ際シ軍隊被服裁縫場ヲ設置ト共ニ職工長ニ採用セラレ苦心研鑽シ大イニ得ル所アリシト次テ本業ヲ開始セシハ横町吉本榮ナリトス明治十年頃迄ハ本業者ハ僅ニ四戸ニ過ギザリシモ同二十七八年日清戰役當時ヨリ需用俄ニ増加シ京阪人ニシテ熟達セル職工ヲ引連レ來廣開店スル者續出シ本市ニ於ケル本業ノ面目ヲ革メタリ

抑洋服ハ明治二十七八年戰役前マデハ着用者ハ軍人官吏學校生徒ノミニ限ラレタル感アリシモ逐年着用者増加ニ伴ヒ同業者モ亦増加シ殊ニ日露戰役當時ヨリ一層劇増シ現今ハ七十六戸ノ多キニ及ビ一ケ年ノ生産六七八、〇〇〇圓ヲ示シ山口、福岡、縣下ニ移出セリ

里 程 表

自 廣 島 市					自 廣 島 市				
至 東 京 市					至 下 關 市				
驛 名	哩 數	一等	二等	三等	驛 名	哩 數	一等	二等	三等
廣 島	—	—	—	—	廣 島	—	—	—	—
西 條	19.8	1.50	1.00	.50	宮 島	13.5	1.05	.70	.35
糸 崎	46.3	3.54	2.36	1.18	大 竹	2.24	1.74	1.16	.58
尾 道	51.9	3.90	2.60	1.30	岩 國	25.7	1.95	1.30	.65
福 山	64.4	4.71	3.14	1.57	柳 井 津	46.2	3.54	2.36	1.18
笠 岡	73.5	5.28	3.52	1.76	下 松	63.5	4.65	3.10	1.55
岡 山	100.7	6.96	4.64	2.32	德 山	68.4	4.95	3.30	1.65
姫 路	155.7	9.78	6.52	3.26	三 田 尻	84.9	5.97	3.98	1.99
神 戶	190.1	11.55	7.70	3.85	小 郡	96.0	6.66	4.44	2.22
大 阪	210.1	12.48	8.32	4.16	山 口	103.9	7.29	4.84	2.42
京 都	236.9	13.56	9.04	4.52	宇 部	111.7	7.53	5.02	2.51
彦 根	275.2	15.21	10.14	5.07	厚 狹	117.7	7.83	5.22	2.61
關 原	292.6	15.93	10.62	5.31	小 月	126.8	8.28	5.52	2.76
岐 阜	309.9	16.56	11.04	5.52	長 府	130.7	8.49	5.66	2.83
名 古 屋	328.7	17.25	11.50	5.75	下 關	139.5	8.94	5.96	2.98
靜 岡	444.1	21.30	14.20	7.10					
横 須 賀	544.5	24.45	16.30	8.15					
横 濱	545.1	24.48	16.32	8.16					
東 京	563.3	25.02	16.68	8.34					

備考 本表賃金ノ外ニ急行料金(急行ニ乗車ノモノ)ヲ要ス(別表)

急 行 料 金

等 級	三百五十哩未満	五百哩未満	五百哩以上
一 等	2.00	3.00	3.75
二 等	1.30	2.00	2.50
三 等	.65	1.00	1.25

市 内 主 ナ ル 旅 館 (一ケ年税額五十圓以上)

町 名	屋 號	氏 名	電 話
播磨屋町		株式會社廣島ホテル	2053
大手町三丁目		吉 川 金 藏	特長 106 2256
鐵砲屋町	松 万	松 田 万 之 助	特長 32 288
鳥屋町	わ た や	渡 邊 章 一	長 261 86
大須賀町		長 沼 シ ゲ	特長 1238
大須賀町		吉 川 秀 男	104
猫屋町		高 橋 十 兵 衛	長 519
大須賀町	鶴 水 館	大 崎 玉 次	長 930
大手町五丁目		藏 内 仲 二	特長 487
鳥屋町		中 近 茂	長 654
播磨屋町		松 川 了 之 助	
天神町		天 城 福 松	336
大須賀町		中 本 直 太 郎	2047
猫屋町		錦 織 八 十 一	
鐵砲屋町	千 歳 館	馬 場 丈 吉	長 743
鐵砲屋町		合資會社山金旅館	長 1063
堀川町		宮 本 修	特長 542
堀川町	やまさや旅館	直 田 貞 吉	長 2158

(70)

抑洋

徒ノ

亦増

キニ

ニ移

自至

驛名

廣西糸尾福笠岡姫神大京彦關岐名靜横横東

備考

(72)

紙屋町		山口常吉	649
大須賀町		山邊省三	
大手町四丁目		渡部タミ	長 681
元柳町		佐々木チヨノ	510
大須賀町		山科敏夫	1406
鐵砲屋町		永井カツ	長 446
猫屋町		河口千代子	
堀川町	田中旅館	行宗環	長 2032
三川町		天城忠衛門	長 1214
下柳町	防長館	小林政千	2174

昭和二年三月二十五日印刷

昭和二年三月三十一日發行

廣島市役所

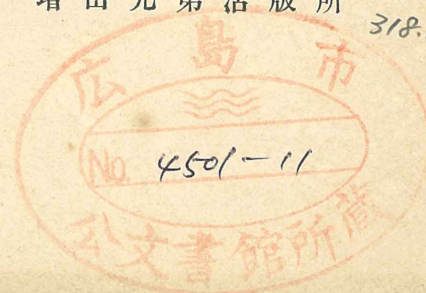
廣島市鹽屋町十二番地

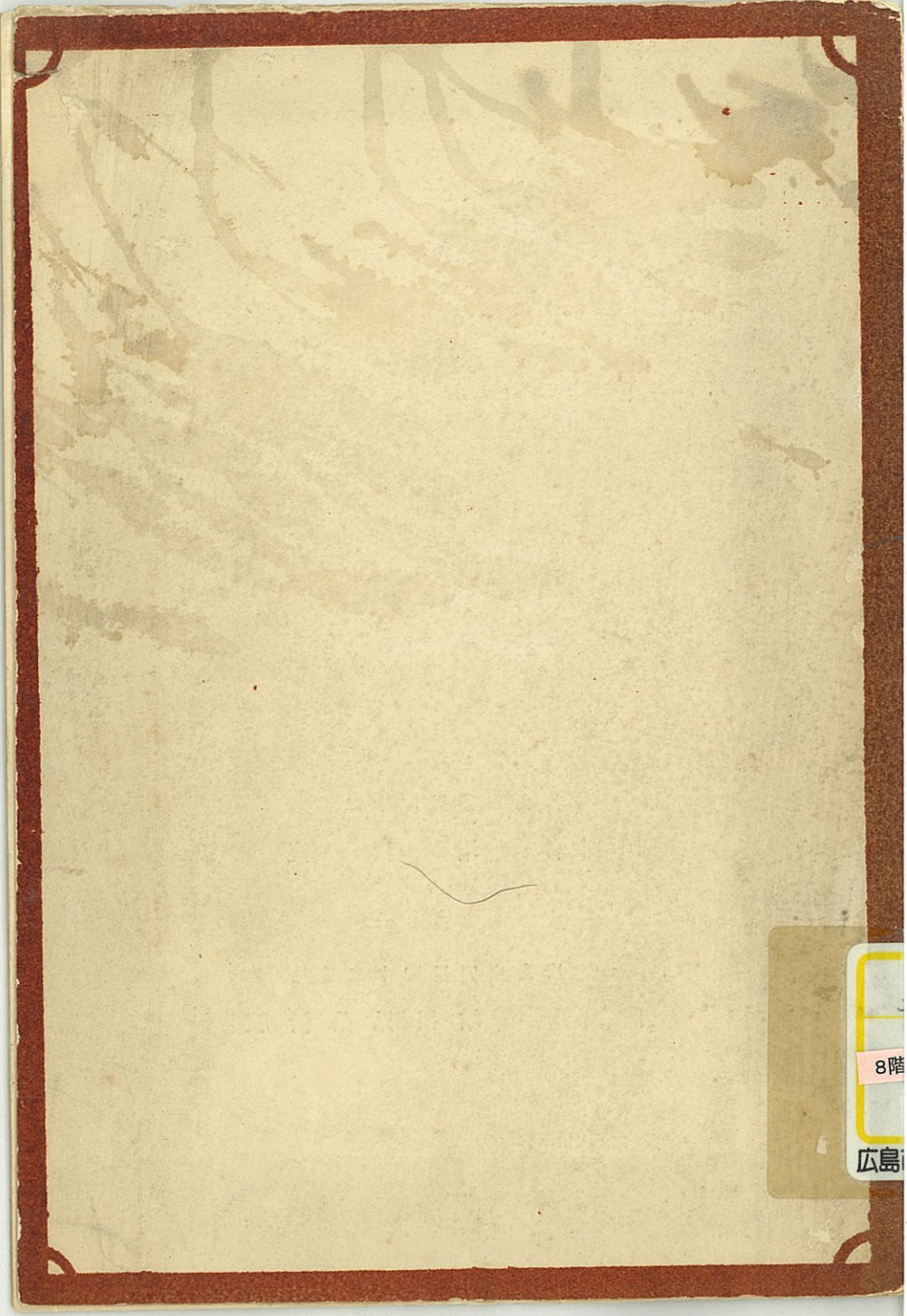
印刷者 増田直吉

廣島市鹽屋町十二番地

印刷所 増田兄弟活版所

318.10





8階

広島